

「元氣とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	1 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援の推進
政策目標	結婚を希望する人が結婚し、すべての子どもを持ちたいと願う人が、安心して妊娠・出産ができる社会が実現していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)結婚を希望する男女のサポートの充実及び気運の醸成	■結婚を希望する男女の出会いの場の提供 ・とやまマリッジサポートセンター運営事業 結婚を希望する男女を支援するため、個別マッチング等を実施 ・TOYAMATCH運営事業 出会いや交流、結婚を希望する独身者と、独身者を支援する県内事業者をつなぐ「プラットフォーム」を運営	29,300 9,200
(2)いのちの尊さを学ぶライフプラン教育の推進	■異年齢交流の促進 ・とやまの高校生ライフプラン教育充実事業 高校生の赤ちゃんふれあい体験の実施、ライフプラン教育に関する副教材の活用等 ・とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業 デジタルブックの活用やライフデザインセミナー、乳幼児とのふれあい体験を通して、小・中学生が自らの生き方を考えるライフプラン教育を系統的に実施 ・思春期ピアカウンセラー交流促進事業 大学生や専門学生の中からピアカウンセラーを養成し、高校や学園祭等で、結婚、妊娠、出産を含めたライフプランに関する啓発や相談を実施 ■男女共同参画の普及啓発 ・女性のキャリアプランク解消講座開催事業 女性の職業生活におけるキャリア形成を支援するため、ライフイベントに応じた切れ目のないキャリア形成支援策を実施 ・男女共同参画推進員事業(再掲) 男女共同参画推進員による普及啓発活動の実施	1,700 352 200 1,420 7,150
(3)周産期保健医療体制の整備	■周産期保健医療体制の充実 ・周産期母子医療センター運営事業 総合周産期母子医療センターである県立中央病院と地域周産期母子医療センターに対する運営費補助 ・NICU等入院児の在宅移行促進事業 医療的ケア児が在宅生活へ移行するために必要な知識・技術を取得するための訓練等を行う医療機関や在宅生活中の児童を一時的にレスパイト入院させる医療機関に対して補助 ■周産期保健医療連携体制の推進 ・周産期医療対策事業 総合周産期母子医療センター(県立中央病院)や各地域の病院、診療所など関連施設の相互連携を促進するための協議会の開催等	96,615 24,934 4,504
(4)母と子の健康づくりへの支援	■子どもの健やかな成長のための支援 ・乳幼児総合相談支援ネットワーク事業 障害児及び養育者に対する相談体制の充実及び関係機関との連携体制の整備 ・乳幼児健診精度向上事業 乳幼児健診等に携わる保健師等のスキルアップ研修の実施 ・母乳育児推進活動、母子保健推進員活動への助成 ・先天性代謝異常等検査事業(タンデムマス法 新生児マススクリーニング) 疾患の早期発見、早期治療により心身障害の予防又は軽減を図るための先天性代謝異常等の検査 ・オンライン小児医療相談事業 専門医によるオンライン小児医療相談サービスの実施 ■安全で安心な妊娠・出産のための情報提供、相談体制の充実 ・不安を抱えた妊婦への支援事業 妊娠・出産に悩む者に対する相談窓口を充実し、産科受診への同行や居場所の提供等を支援 ・切れ目のない妊娠・出産包括支援推進事業 妊娠期から子育て期にわたり切れ目なく支援を行う市町村に対し、ネットワークの構築や研修による人材育成等を支援 ■子どもの急病についての相談体制や実情に応じた小児救急医療体制の充実 ・子ども医療電話相談事業 子どもの病気やケガ等に対する電話相談を実施 ・小児初期救急センター運営事業 小児初期救急センターの運営を支援	1,563 674 364 17,368 19,200 5,518 1,228 12,737 5,100

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
子育て世代包括支援センター設置市町村数	15市町村	15市町村 達成	子育て世代包括支援センターを設置した市町村数
高校生の赤ちゃんふれあい体験を実施した学校数	12校	増加させる	県立高校における「高校生の赤ちゃんふれあい体験」を実施した学校数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	2 保育サービスの拡充など積極的な子育て支援等の展開
政策目標	家庭や地域において、安心して子どもを生き育てられる環境を整備されるとともに、社会全体で子育てを支える気運の醸成が図られていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)多様な保育サービスや放課後児童クラブの拡充	■多様な保育・子育て支援サービスの充実	
	<ul style="list-style-type: none"> ・【拡】特別保育事業 延長保育、病児・病後児保育等多様な保育サービスの充実を支援 国の「こども未来戦略」に伴い、病児対応型の運営費の基本単価を引き上げ ・病児・病後児保育充実促進事業 病児対応型、病後児対応型施設の設置促進のため県独自に運営費等を支援 ・医療的ケア児保育支援事業 医療的ケア児を受け入れる保育所等の体制整備を支援 ・年度途中入所促進事業 年度途中入所に対応するため、年度当初から保育士を配置する経費を支援 ・ハートフル保育カウンセラー派遣事業 発達障害に関する専門的助言を行う臨床心理士を保育所等へ派遣 ・【新】保育所等緊急支援カウンセラー派遣事業 保育所等における不測の事態の発生などにより、緊急に心理面での相談対応等が必要となった際のカウンセラー派遣体制を整備 ・【拡】病児・病後児保育利便性向上事業 利用者が居住地を限定せず施設の利用を可能とする広域受入体制の構築に向け、協定金の精算制度の導入など、市町村の円滑な移行を支援 ・保育士・保育所支援センター事業 潜在保育士の就職支援等を行うセンターを運営、就職説明会の開催 ・保育士キャリアアップ研修事業 保育士等の処遇改善のため、キャリアアップにつながる研修を実施 ・【拡】施設型給付費等負担金 子ども・子育て支援新制度における保育所等の運営費、質の改善に係る経費、国の「こども未来戦略」に伴い、保育所等の運営費について、4・5歳児配置改善加算を措置 ・保育補助者雇上支援事業 保育士の負担軽減のため、保育補助者の雇用経費を貸付 ・【新】潜在保育士確保に向けた保育補助者雇用促進事業 潜在保育士の保育現場への段階的な復帰を促進するため、潜在保育士を保育補助者として雇用する経費を支援 ・保育士修学資金貸付事業 保育士養成施設に入学、在学する者に修学資金を貸付 ・未来の富山の保育士確保事業 高校生や養成校学生に対し、保育士の仕事をPR ・地域子ども・子育て支援事業 地域子育て支援拠点の運営や一時預かり事業等の実施を支援 ・【拡】産前産後ヘルパー派遣事業 産後ヘルパーの派遣について、利用者ニーズを踏まえ、つわりや切迫早産などで日常生活が困難な場合など産前の家庭を対象に追加するほか、1時間単位での利用を可能とするなど利便性の向上を図る 	<p>474,304</p> <p>250</p> <p>79,536</p> <p>30,510</p> <p>6,125</p> <p>2,800</p> <p>2,050</p> <p>5,719</p> <p>5,858</p> <p>4,543,665</p> <p>2,953</p> <p>17,000</p> <p>4,000</p> <p>1,800</p> <p>500,561</p> <p>6,000</p>
	■放課後児童クラブの拡充	
	<ul style="list-style-type: none"> ・【拡】放課後児童クラブ事業 保護者が昼間家にいない児童に対し、放課後や休日に学校の空き教室、児童館等を利用し、遊びや生活の場を与える活動の運営費、施設整備費等に対する補助 国の「こども未来戦略」に伴い、常勤職員を2名以上配置した場合の補助基準額を創設 ・放課後児童支援員認定研修事業 子ども・子育て支援新制度において放課後児童クラブに配置が義務付けられた「放課後児童支援員」の認定に必要な研修の開催 ・放課後児童クラブ時間延長支援職員マッチング事業 18時以降や夏休み等の長時間開設時の臨時的職員確保のため、学生を対象とした研修の開催、マッチングの実施 	<p>690,746</p> <p>2,037</p> <p>264</p>

(2)子育て情報の提供 や相談機能の充実	■子育て情報の提供 ・子育て支援等に関するポータルサイト「とみいくフレフレ」の運営・管理 ・子育て支援AIチャットボット運用事業 子育て世帯がスマートフォンから手軽に子育て支援情報を入手でき、また相談体制の充実を図るため、令和4年度に導入した子育て支援AIチャットボットの運用管理	574 2,628
	■相談機能の充実 ・地域子ども・子育て支援事業(再掲) 地域子育て支援拠点の運営や一時預かり事業等の実施を支援 ・「マイ保育園」推進事業 身近な保育園で妊婦や子育て中の親に対する育児体験・相談等を実施 ・家庭教育総合相談事業(再掲) 子育て情報ホームページによる情報提供や、電話相談やカウンセリング、電子メール相談等の実施	500,561 3,000 3,997
(3)地域住民による子 育て支援の促進	■子育て支援活動の促進 ・とやまっ子さんさん広場推進事業 地域住民やNPOによる自主的なこどもの居場所づくりに対する補助	14,014
	■子育てを支援する人材の育成 ・子育て支援員研修事業 地域で子育てを支援する人材を養成する研修の開催	2,520
	■安心して子育てができる生活環境の整備 ・臨時保育室設置事業 公共施設等において催物を開催した場合、施設内に臨時保育室を設置	1,280
(4)社会全体での子育 て支援の気運醸成	■社会全体で子どもや子育てを支援する意識づくり ・子ども・子育て応援とやま賞の授与 地域の子ども・子育て支援等に積極的に取り組み、優れた成果を上げている個人・団体等を顕彰	550
	・【拡】男性の育児休業取得緊急促進事業 男性の育児休業取得を促進するため、男性の育児休業取得者とその事業主に対し補助金を交付	51,900
	■家族のふれあいを促進する啓発活動の促進 ・とやま子育て応援団運営費 子育て家庭のふれあいや企業、地域社会全体で子育て家庭を応援するため実施している「とやま子育て応援団」の運営管理及び普及	1,510
	・子育て家庭お出かけ推進事業 子育て家庭がお出かけしやすい環境づくりのため、とやま子育て応援団協賛企業が行う子育て家庭に配慮したサービスの提供や設備の整備を支援	15,500
	■こどもの意見の施策反映 ・【新】こどもの意見プラス事業 こどもの意見を施策に反映するため、小中学生が意見を表明できる機会を創出	500

<参考> 活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
一時預かり事業実施箇所数	156か所	153か所	保育所等で一時的に乳幼児を預かる事業の実施箇所数
子育て支援員研修修了者数	137人	—	子育て支援員研修の受講者のうち、全科目を受講して修了証を交付した者の数
とやま子育て応援団の利用度	73.0%	増加させる	とやま子育て応援団を利用したことがある人の割合(未就学児を持つ保護者)

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	3 仕事と子育てを両立できる職場環境づくり
政策目標	仕事と子育てが両立できる職場環境の整備や県民の意識醸成が図られ、男女ともに、積極的に子育てに関わっていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)仕事と子育てを両立できる職場環境の整備	■子育てと両立できる職場環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・仕事と子育て両立支援&女性活躍・中小企業支援事業(再掲) 一般事業主行動計画の策定が努力義務となっている中小企業等に社会保険労務士を派遣するほか、企業向けの策定研修会を開催 ・事業所内保育施設推進事業 事業所内保育施設の設置・運営に対する補助 ・働き方改革ラボ事業 県庁が率先してテクノロジーを活用した働き方改革を実施し、民間等を後押しする ・女性の多様な働き方支援事業 育児や介護等を理由として外で働くことが困難な女性の働き方の選択肢として在宅ワークを普及するとともに、テレワーカーを活用したい県内外の企業とのマッチングを実施 	3,854 18,200 6,880 4,200
(2)事業主への意識啓発の推進	■仕事と生活の調和の実現に向けた働き方の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・企業と従業員のウェルビーイング創出事業(再掲) 企業における働き方改革や女性活躍の取組みを促進するため、開催時期やテーマなど希望に応じて専門の講師を派遣 ・働き方改革等の横展開推進事業 「働き方改革・女性活躍サポーター」、「イクボス企業同盟とやま」、当課HP (Good!! Work & Lifeとやま)、デジタル広告を活用して働き方改革の横展開を促進 	2,970 3,230
(3)男性の家事・育児への参画の促進	■男女共同参画の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・【新】アンコンシャス・バイアス気づき発信事業(再掲) 性別によるアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)への気づきとその解消に向けた行動を促進 ・【拡】男性の育児休業取得緊急促進事業 男性の育児休業取得を促進するため、中小企業における男性の育児休業取得者とその事業主に対し補助金を交付 ・「とやま県民家庭の日」普及・啓発事業 作品コンクールを開催するなど、明るく楽しい家庭づくりを促進する「とやま県民家庭の日」及び「とやま家族ふれあいウィーク」を普及啓発 	5,950 51,900 2,373 の一部

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
仕事と子育て両立支援推進員の訪問件数(累計)	2,046件	2,700件	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定・更新の周知・啓発のため、仕事と子育て両立支援推進員が訪問した事業所数
元気とやま!子育て応援企業の登録数	492社	490社	県のHPで経営トップの子育て応援宣言や行動計画を公表する「元気とやま!子育て応援企業」の登録企業数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	4 子育て家庭などの経済的負担の軽減
政策目標	経済的な環境にかかわらず、子どもを持ち育てたいと思う県民一人ひとりの希望を実現するための取組みが推進されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)子育て家庭のニーズにマッチした支援の推進	■子育て家庭のニーズ把握 ・アンケート調査の実施等(随時)	
(2)出産、保健、医療等に要する費用負担の軽減	■不妊・不育症対策の充実 ・不妊治療費助成事業 妻の年齢が40歳未満となる場合の保険適用外となる通算7回目以降の治療について助成 ・不育症治療費助成事業 保険適用の治療費を対象に1回30万円まで支援(市町村への補助) 保険適用外の検査費(保険適用外併用)を支援 ■医療等に要する費用負担の軽減 ・ひとり親家庭等医療費助成事業 ひとり親家庭等の父又は母とその児童等に対し、医療費の自己負担分を助成 ・乳児、幼児及び妊産婦医療助成事業 乳児、幼児及び妊産婦に対し、医療費の自己負担分を助成 ・【新】子育て支援ポイント制度事業 出産から子育て期までの切れ目ない支援を実現するため、県の「子育て応援券」を拡充し、地域通貨を付与するポイント制度を展開	30,931 3,133 215,960 611,314 223,700
(3)多子世帯等の経済的負担の軽減	■経済的負担の軽減 ・【拡】保育所等保育料軽減事業 市町村が行う保育料の軽減への支援 (0～2歳児について、低所得世帯の第1子・第2子の無償化・軽減、第3子以降の無償化) ・保育所等副食費軽減事業 市町村が行う副食費の軽減への支援(一定の所得の多子世帯の3～5歳児) ・がんばる子育て家庭支援融資 多子世帯(3人以上)に対する低利融資 ・がんばる子育て家庭支援融資利子補給事業 多子世帯の教育費の負担軽減を図るため、利子補給により上記融資を実質無利子化 ・富山県住みよい家づくり資金融資事業 三世代同居及び多子同居住宅の新築・購入・リフォームに対する実質無利子融資 ・子育て支援事業「とやまっ子すくすく電気」 多子世帯(3人以上)の電気料金負担に対する支援 ・【拡】私立高等学校生徒奨学支援事業(授業料支援) 多子世帯(3人以上)のうち、年収約590万円以上910万円未満世帯の授業料を実質無償化 ・【拡】私立高等学校生徒奨学支援事業(入学時納付金支援) 多子世帯(3人以上)のうち、年収910万円未満世帯に対する私立高校入学時納付金に対する軽減措置 ・【新】子育て支援ポイント制度事業 国の「出産・子育て応援交付金」との連携により、出産から子育て期までの切れ目ない支援を実現するため、県の「子育て応援券」を拡充し、地域通貨を付与するポイント制度を展開	193,253 32,322 1,176,000 18,486 356,779 の一部 60,724 229,762 80,456 223,700
(4)就学にかかる経費負担の軽減	■高校生等の修学援助 ・奨学資金貸付金事業 経済的理由で修学が困難な生徒・学生に対して奨学金を貸与 ・高等学校等奨学給付金事業 高校生の教育費負担軽減のため、低所得世帯に対して給付金を支給 ・【拡】私立高等学校生徒奨学支援事業(授業料支援)(再掲) 私立高等学校等に通う年収約590万円未満世帯の生徒の授業料の実質無償化(国制度)にあわせ、年収約590万円以上910万円未満世帯の授業料の上乗せ補助を実施(多子世帯・ひとり親世帯は実質無償化) ・【拡】私立高等学校生徒奨学支援事業(入学時納付金支援)(再掲) 非課税世帯及び年収910万円未満の多子世帯(子どもが3人以上)及びひとり親世帯に対し、入学時納付金軽減措置を実施 ・私立専門学校の授業料等減免事業 専門学校に通う、真に支援が必要な低所得世帯の学生等に対して授業料及び入学金を減免	122,710 234,742 229,762 80,456 109,591

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
「とやまっ子 子育て応援券」の利用率	90.1%	90%	利用期限(3年間)が終了した応援券の発行金額(累計)のうち、実際に利用のあった金額の割合
「がんばる子育て家庭支援融資」による無 利子融資件数(累計)	1,225件	1,800件	「がんばる子育て家庭支援融資」を行ったうち、無利子融資 (H27年度以降)件数の累計

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	5 子どもの健やかな成長支援
政策目標	子どもたちが、虐待・いじめなどの人権侵害を受けることなく、健やかに成長するとともに、学校・家庭・地域の連携・協力のもと、学び・遊び・体験活動等を通じ心身の豊かさ・たくまさを育んでいること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)子どもの権利と利益の尊重	■児童相談所等の機能強化 ・児童相談所職員の増員と研修の充実 児童福祉司等を増員するとともに、児童福祉司の任用後研修等を実施し職員の資質向上を図る ・児童相談所法的対応機能強化事業 家庭裁判所への申立等の法的手続きを専門家である弁護士に依頼 ・【新】こども総合サポートプラザ(仮称)の整備に係る工事費等 Ciビル内に、富山児童相談所育成総合支援センター(仮称)と、こどもに関する相談機関を集約する拠点を設置 ・児童相談所・関係機関連携強化事業 児童相談業務に係る関係機関の連携強化のため、児相職員と市町村職員、施設職員等を対象とした研修を開催。児相職員、市町村職員、施設職員の専門性を高めるための研修等を行う ・【新】児童心理治療施設開設準備事業 児童心理治療施設開設に向け、県福祉職員を対象とした集合研修や、施設運営に係る検討会を実施	1,478 2,200 156,400 2,277 760
	■社会的養護に係るこどもの権利擁護の強化 ・【新】こどもの権利擁護環境整備事業 児童福祉法改正に伴い、社会的養護に係るこどもの権利擁護体制を構築するため、意見表明支援員の養成・派遣や、「子どもの権利ノート」の改訂を行う。	5,700
	■市町村や関係機関との役割分担と連携強化 ・市町村支援児童福祉司を児童相談所へ配置 市町村、保健・医療、福祉・教育、司法、民生児童委員等の関係団体から構成される要保護児童対策地域協議会への児童相談所職員の参加等を通じ、情報共有や連携を図る ・児童相談所・関係機関連携強化事業(再掲) 児童相談業務に係る関係機関の連携強化のため、児相職員と市町村職員、施設職員等を対象とした研修を開催。児相職員、市町村職員、施設職員の専門性を高めるための研修等を行う ・児童養護施設等体制強化事業 児童指導員等の職員の負担軽減等により勤務環境改善に取り組んでいる施設に対し、補助者の雇い上げに必要な費用を補助 ・DV対応・児童虐待対応連携強化事業 女性相談センターに児童虐待防止対応コーディネーターを配置し、児童相談所等との連携の強化を図る	2,277 2,756 3,858
	■児童虐待やいじめ等を早期発見・早期対応するための体制整備 ・医療機関向け児童虐待防止研修会開催事業 医療現場における児童虐待防止対策強化のために、医療機関向けの研修会を開催し、児童虐待に対する意識啓発や通告先の周知等を実施 ・24時間子供SOSダイヤル 児童生徒等の話し相手や悩みなどの電話相談に24時間体制で応じる ・子どもほっとライン事業 電話や電子メール等により子どもたちの悩みや質問に応える相談活動を行う	1,000 9,370 1,289

(2) 地域で子どもを育む環境づくり	■学習・遊び・体験活動や地域住民との交流活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校の連携・協働体制構築事業 放課後や土曜日等において、学校の余裕教室等を活用して幅広い地域の方々の参画により学習支援や様々な体験・交流活動を実施する。また、コミュニティ・スクールの導入・充実にに向けた取組みを支援する。 ・放課後児童クラブ事業(再掲) 保護者が昼間家にいない児童に対し、放課後や休日に学校の空き教室、児童館等を利用し遊びや生活の場を与える活動の運営費、施設整備費等補助 ・とやまっ子さんさん広場推進事業(再掲) 地域住民やNPOによる自主的な子どもの居場所づくりに対する補助 ・【新】こども食堂応援事業 こども食堂の輪を一層広げるため、市町村との連携により、こども食堂に対する支援を実施(立上げ経費支援、初年度の運営費支援、特色ある取組みへの支援) ・こども食堂設置拡充促進事業 こども食堂の輪を一層広げるため、こども食堂未設置地域の掘り起こしや各種団体との連携に取り組む体制を整備 ・子どもほっとサロン事業 富山県子どもほっとサロネットワーク(こども食堂運営団体が参加するネットワーク組織)に対し、ボランティア保険の加入費用等を補助 ・【新】こどもの居場所づくり支援事業 不登校など様々な困難を抱えるこどもが学校以外の居場所で安心して過ごせるよう、市町村との連携により、民間団体における「居場所の開設」や「特色ある取組み」を支援 	57,386
	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ整備事業費補助金 放課後児童クラブの創設、改築等に対する補助 	690,746
	<ul style="list-style-type: none"> ・【拡】新川こども施設整備・運営事業 新川こども施設の整備・運営を行う事業者を選定し、設計や工事、開業後の運営を含むPFI事業を実施 	14,014
	■魅力ある遊び場づくりと遊びのネットワークづくり	3,200
	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂設置拡充促進事業 こども食堂の輪を一層広げるため、こども食堂未設置地域の掘り起こしや各種団体との連携に取り組む体制を整備 	3,920
(3) 子どもの健全な育成	■地域で子どもを守り育てる活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの登下校安全対策事業 市町村で委嘱するスクールガード・リーダーの配置、学校安全パトロール隊等に要する経費について支援 	400
	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】こども食堂応援事業 こども食堂の輪を一層広げるため、市町村との連携により、こども食堂に対する支援を実施(立上げ経費支援、初年度の運営費支援、特色ある取組みへの支援) 	3,000
	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】こどもの居場所づくり支援事業 不登校など様々な困難を抱えるこどもが学校以外の居場所で安心して過ごせるよう、市町村との連携により、民間団体における「居場所の開設」や「特色ある取組み」を支援 	3,000
(4) 家庭的養護の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ整備事業費補助金 放課後児童クラブの創設、改築等に対する補助 	41,728
	<ul style="list-style-type: none"> ・【拡】新川こども施設整備・運営事業 新川こども施設の整備・運営を行う事業者を選定し、設計や工事、開業後の運営を含むPFI事業を実施 	68,050
	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂設置拡充促進事業 こども食堂の輪を一層広げるため、こども食堂未設置地域の掘り起こしや各種団体との連携に取り組む体制を整備 	3,920
(3) 子どもの健全な育成	■青少年健全育成運動の推進と非行防止に対する関係機関の連携促進 <ul style="list-style-type: none"> ・少年補導センター育成事業 少年補導委員研修会の開催及び街頭補導・有害環境浄化活動の推進 ・青少年育成県民運動推進事業 青少年育成県民運動への助成 	375
	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成県民運動推進事業 青少年育成県民運動への助成 	4,722
	■インターネットの適切利用 <ul style="list-style-type: none"> ・とやまの子どもを守り育てるネット利用推進事業 ーネット上の不適切な書き込みをネット監視員が検索し、学校へ情報を提供するネットパトロールの実施 	696
(4) 家庭的養護の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・里親支援事業 里親制度の広報啓発、里親登録前研修の実施、里親と里子のマッチング、委託里親への訪問支援等の業務を里親支援機関に委託し、総合的に実施 	4,870
	<ul style="list-style-type: none"> ・里親制度普及・リクルート事業 里親リクルーターを配置し、里親に対する認知度を高めるための普及啓発、里親に関心のある層を発掘し登録を働きかける活動等を実施 	3,562
	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】児童養護施設における児童家庭支援センター整備事業 児童養護施設が施設多機能化の一環として実施する児童家庭支援センターの整備に対して補助を実施 	14,389
	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】ファミリーホーム生活環境改善事業 小規模住居型児童養育事業(ファミリーホーム)に入居する児童の生活環境を改善するため、共有部分の改修工事や空調の整備を行う 	6,776

<参考> 活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
少年補導委員による街頭補導状況	1,392回	2,200回	県内各市町村の少年補導センターによる街頭補導の実施回数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	6 少人数指導と少人数数学級の組合せ等による充実した教育の推進
政策目標	様々なニーズに対応した教育環境の整備が進められ、魅力ある質の高い教育が行われていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 少人数教育の推進	■少人数教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・少人数教育推進事業(再掲) <ul style="list-style-type: none"> －小学校6年生までの全学年で少人数数学級(35人以下学級)を実施 －中学校1～3年生で少人数指導を実施するため非常勤講師を配置 －小規模校において、きめ細かな指導により、基礎学力や望ましい学習態度の一層の定着を図るため、非常勤講師を配置 －中1・35人学級実施校の授業時数増への対応や少人数指導の充実のため、非常勤講師を配置 	183,276
(2) 新たな教育課題への対応と特徴ある教育環境の整備	■学校の実情に応じた専科指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・【新】学力向上推進教員配置事業 教育の質の向上や働き方改革推進のため、専科指導と少人数指導を行う教員を小学校に配置 ■国際人として活躍する資質を育成する教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・とやまの高校生留学促進事業(再掲) 高校生等の異文化理解を深め、我が国と海外の国との相互理解と友好親善に寄与する人材育成のため、県内高校生等に留学支援金を給付し、海外留学の促進を図る 	182,505 5,147
(3) 校種間連携の推進	■校種間連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の質の向上推進事業 幼児教育施設への訪問研修などで幼児教育スーパーバイザー等が指導助言し、幼児教育の質の向上を図るほか、市町村担当者会議を実施するなど市町村の幼小接続の取組を支援 ・高大連携未来を拓く人材育成事業 県内大学等と県立高校が連携し、大学教員による高校での専門性の高い特別授業や、探究科学科設置校等による合同発表会を開催 ・学びの体験オープンハイスクール事業 中学校3年生の体験入学期間を設けるとともに、地域への授業公開を推進 	5,935 1,700 476
(4) 魅力と活力ある学校づくり	■県立学校教育振興計画の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・県立学校教育振興計画推進費 「県立学校教育振興計画 基本計画」に基づき、生徒の学習環境の整備等を着実に推進するために必要な施策を実施 ・高大連携未来を拓く人材育成事業(再掲) 県内大学等と県立高校が連携し、大学教員による高校での専門性の高い特別授業や、探究科学科設置校等による合同発表会を開催 ・【新】魅力と活力ある県立高校整備等検討事業 県立高校の再編に関する基本的な方針や新たな学科・コースの設置等について議論・検討 ・高校オープンイノベーション支援事業 教科等横断的な学習や地域課題等をテーマとした探究活動を行うために地域・大学・企業等との連携を促進するコーディネーターを配置 ■学校運営の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員事業 学校運営協議会を導入する学校を除く全県立学校に学校評議員を置き、学校運営や学校評価にその意見を反映 ■県内教育研究団体との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・県内各種教育研究団体等への活動助成 ■県立学校の整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・県立高等学校跡地活用推進事業 令和4年3月に閉校となった県立高校の跡地の活用のため、用地の整備に向けた設計や環境整備等を実施 ・高等学校建設事業 高等学校の老朽改築等の施設整備、武道場の改築、中央農業高校寄宿舎食堂棟改築の実施設計 ・運動場等整備事業 グラウンド・テニスコートの改修等 ・【拡】高等学校校舎等リフレッシュ事業 県立高校教室空調更新事業、特別教室空調新設事業、普通教室等LED化工事、県立学校太陽光発電設備設置事業 	600 1,700 6,200 10,349 427 7,948 60,800 2,906,685 83,624 796,115

<ul style="list-style-type: none"> ・学校修繕費 県立学校施設の修繕 	590,410
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校建設事業 特別支援学校の老朽改築等の施設設備 	391,936

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
求められる英語力を有する生徒の割合	中3:46.1% 高3:60.5%	中3:50%以上 高3:60%以上	中学3年生でCEFR A1レベル相当(実用英語技能検定3級等)以上、高校3年生でCEFR A2レベル相当(実用英語技能検定準2級等)以上の英語力を有する生徒の割合
授業や学校行事を地域や保護者に公開した1校当たりの延べ日数が5日以上である学校(全日制県立高校)の数	12校 (34校中)	34校 (34校中)	授業や学校行事を地域や保護者に公開した延べ日数が5日以上である全日制県立高校の数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	7 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
政策目標	小学校入学前から高校卒業後までの、切れ目のない一貫した支援体制の整備により、障害のある子ども一人ひとりの自立と社会参加の実現が図られていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 特別な教育的ニーズのある子どもへの「多様な学びの場」の提供	■一人ひとりのニーズに応じた教育の推進と支援体制の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> とやまの特別支援教育強化充実事業 <ul style="list-style-type: none"> 小中学校巡回指導員及び高等学校巡回指導員の配置や外部専門家の派遣による学校への支援の充実 管理職や教務主任等を対象とした研修や、11年次教職員研修において小中学校の全教員が特別支援学校での体験研修を行うなど、特別支援教育における教員の専門性の向上 発達障害を含め障害のある児童生徒を支援するスタディ・メイト(特別支援教育支援員)の養成、資質向上 【拡】SDGsインクルーシブ教育システム推進事業 <ul style="list-style-type: none"> インクルーシブ教育システムの理念の啓発のための情報発信 インクルーシブ教育推進員による小中学校への学びの場の見直しへの助言 	11,086 の一部 3,600
(2) 障害のある子どもに合った指導法等の検討と適切な合理的配慮の提供	■合理的配慮の提供 <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校医療的ケア体制整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 日常的に医療的ケアを必要とする児童生徒の教育が安全かつ円滑にできるよう支援 県立特別支援学校に看護職員を配置 医療的ケア指導チームを設置し、学校の実施体制への指導助言や看護職員からの相談対応、助言 【新】特別支援学校医療的ケア児登校サポート事業 <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校に在籍する医療的ケア児の登校支援として福祉タクシーに同乗する看護師の経費を支援 特別支援学校通学運営費 <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校に通学する児童生徒の安全確保や遠距離通学に伴う負担、保護者の送迎に対する負担軽減を図るため、通学バスを運行 ■共生・共育の推進 <ul style="list-style-type: none"> とやまの特別支援教育強化充実事業(再掲) <ul style="list-style-type: none"> 手話及び手話言語条例の普及啓発のため、手話使用者を学校に派遣 特別支援学校に在籍する児童生徒の居住地校での交流及び共同学習を支援 	95,871 3,080 349,646 11,086 の一部
(3) 教員の指導力向上	■指導力の向上 <ul style="list-style-type: none"> とやまの特別支援教育強化充実事業(再掲) <ul style="list-style-type: none"> 全教員が特別支援学校での体験研修を行うなど、特別支援教育における教員の専門性向上 オンデマンド研修コンテンツを作成し、研修機会を充実 教員免許検定認定講習会費 <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校教諭免許状取得の推進 	11,086 の一部 677
(4) 高等特別支援学校等での就労支援の充実	■就労支援体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校就労応援事業 <ul style="list-style-type: none"> 就労体験等の協力企業の「特別支援学校就労応援団」とやまへの登録 小学部の仕事体験、中学部の職業体験等、キャリア教育や就労支援の充実 【新】特別支援学校地域就労支援アドバイザー配置事業 <ul style="list-style-type: none"> 職場開拓・マッチング、地域就労機関との連携、学校におけるキャリア教育の助言、情報提供を一体的に行う特別支援学校地域就労支援アドバイザー2名を配置 	1,379 6,000

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
スタディ・メイト(特別支援教育支援員)の延べ養成人数	905人	1,040人	スタディ・メイト養成講座を受講し、修了証を交付された延べ人数 スタディ・メイト(特別支援教育支援員):発達障害を含む障害のある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動の支援を行う支援員

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	8 いじめ・不登校対策と人権を大切に作る心の育成
政策目標	いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応のための教育相談体制が充実されているとともに、学校と家庭、地域等が一体となって、いのちを大切に作る心と人権を尊重する心を育む取組みが行われていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)いじめ・不登校に対する教育相談体制の充実	■いじめ・不登校等への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】小中スクールカウンセラー配置事業 全公立小中学校、義務教育学校にスクールカウンセラーを配置する ・【拡】県立学校スクールカウンセラー配置事業 県立学校にスクールカウンセラーを配置し、拠点校でのカウンセリング、その他の高校への巡回支援等を行う ・【拡】いじめ対策カウンセラーの派遣 解決困難ないじめ等の事案発生時に、加害者や周りの児童生徒との面談を通して心のケアを行う ・スクールソーシャルワーカー活用事業 社会福祉士等の専門家を富山市を除く14市町村の全中学校区、義務教育学校及び県立高校拠点4校に派遣し、問題を抱える児童生徒の家庭環境等の改善を支援 ・教育相談体制充実事業 不登校、いじめ等様々な課題を抱える児童生徒やその保護者への早期支援・教職員に対するコンサルテーション機能の充実に向けた教育相談体制の充実・学校外の施設との連携強化 ・いじめ防止対策推進事業 －関係機関・団体との連携を図る「いじめ問題対策連絡会議」を設置 －支援策の検討、学校への指導・助言等を行う「いじめ防止対策推進委員会」を設置 ・24時間相談電話(いじめ等)の設置 児童生徒や保護者の電話相談に常時対応するため、県総合教育センターに24時間対応の「いじめ相談電話」を設置 ・スクールロイヤー活用事業 学校等におけるいじめや虐待への法的側面からの支援を図るため、スクールロイヤーを配置 ・子どもと親の相談員の配置 小学校に、児童や親が気軽に相談できる「子どもと親の相談員」を配置 ・心のサポーター派遣事業(再掲) 富山大学と連携し、教員志望及び心理系学部の大学生や大学院生を、児童生徒の相談相手として小・中学校に派遣 ・子どもほっとライン事業(再掲) 電話や電子メール等により子どもたちの悩みや質問に応える相談活動を行う ・【新】フリースクール等通所児童生徒支援事業 不登校児童生徒の居場所を確保するため、学校外の施設(フリースクール等)を利用する家庭を支援 	<p>171,290</p> <p>18,785</p> <p>6,465</p> <p>30,979</p> <p>6,600</p> <p>799</p> <p>9,370</p> <p>1,202</p> <p>2,347</p> <p>565</p> <p>1,289</p> <p>11,972</p>
(2)いのちを大切に作る心を育む教育の充実	■いのちの教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・いのちの教育総合支援事業 いのちの先生の派遣、いのちの教育講演会の開催及びいのちのメッセージカードの活用等を通して、学校と家庭が一体となった、いのちの教育の推進 ■道徳性を育む教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育総合支援事業 道徳教育推進講演会の開催等、道徳教育パワーアップセミナーの開催等 	<p>1,174</p> <p>649</p>
(3)ネットトラブルの防止対策の推進	■ネットトラブルの防止 <ul style="list-style-type: none"> ・とやまの子どもを守り育てるネット利用推進事業 －ネット上の不適切な書き込みをネット監視員が検索し、学校へ情報を提供するネットパトロールの実施 －「学校ネットルールづくり」の啓発 	<p>696</p>
(4)人権啓発活動等の推進	■イベントやメディアを活用した効果的な人権啓発の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・人権講演会やフェスタの開催、ラジオスポットCM、電車等車内ポスターの掲出、地元プロスポーツチームと連携した啓発活動などによる人権啓発の実施 	<p>18,784</p>
(5)教職員の人権意識の向上	■人権教育に関する研修内容の充実や指導者の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育総合推進事業 人権教育に関する研修会の開催及び人権教育啓発教材の充実 ・人権教育研修会 全校種の人権教育担当者を対象とした研修会を開催し、人権意識を高める 	<p>1,905</p>

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
教員カウンセラー延べ養成数	117人	137人	教員カウンセラー養成事業内地留学派遣者(小・中学校教諭)の数
ネットトラブル防止等の研修会を実施している学校の割合	小:68.0% 中:79.7%	小:100% 中:100%	学校実態調査で、児童生徒を対象とした「携帯・ネット等の安全教室」を実施したかの質問に対して、実施していると回答した学校の割合
人権教育・啓発に関する研修の実施回数	70回	60回以上	医療・保健・福祉関係者、消防職員、警察職員、その他県・市町村職員等、人権に関わりの深い職業に従事する者に対する研修の実施回数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	9 子どもの可能性を伸ばす教育の推進
政策目標	子どもたちが、知識・技能を身につけるとともに、それを基盤としながら、自らの可能性を發揮して、未来を切り拓いていく力を育む教育が行われていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 確かな学力の育成	<p>■ 児童生徒の基礎学力の定着と向上</p> <ul style="list-style-type: none"> とやま型学力向上総合支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査等の結果分析と、それを学校改善、授業改善に活用するための体制の充実 「とやま型学力向上プログラム」の充実と各市町村の学力向上プランに基づく取り組みへの総合的な支援 GIGAスクール構想推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 1人1台端末等を活用した効果的な授業実践のため、小中学校教員を対象とした研修等を実施 ICT教育推進事業(再掲) <ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツの活用促進や、教員のICT活用指導力の向上など、ICT教育環境の一層の充実 とやま新時代創造プロジェクト学習推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 全県立学校において、スクールポリシーなどに基づいたカリキュラム・マネジメントを推進し、他者と協働的に関わりながら、新しい時代を創造する力を育成するため、課題解決型教育やSTEAM教育を推進するプロジェクト学習を支援する。 地域と学校の連携・協働体制構築事業(再掲) <ul style="list-style-type: none"> 放課後や土曜日等において、学校の余裕教室等を活用して幅広い地域の方々の参画により学習支援や様々な体験・交流活動を実施する。また、コミュニティ・スクールの導入・充実に向けた取り組みを支援する。 <p>■ 国際人として活躍する資質を育成する教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> とやまグローバル人材育成促進事業 <ul style="list-style-type: none"> 高度な英語力をもち、世界で活躍するグローバル人材を育成するため、小中学校教員を対象にした研修会を充実させるとともに、小・中学校における英語教育の研究推進を支援し、教員の英語指導力の向上を図る 語学指導等を行う外国青年招致事業(再掲) <ul style="list-style-type: none"> 英語を母国語とする外国青年を招致し、外国語指導助手(ALT)として県立学校及び総合教育センターに配置 英語・グローバル教育充実事業(再掲) <ul style="list-style-type: none"> 高度な英語力をもち、世界で活躍するグローバル人材を育成するため、学習到達目標の活用を促進し、全県で英語指導の一層の充実を図る 高等学校生徒海外派遣事業(再掲) <ul style="list-style-type: none"> 高校生を海外に派遣し、現地高校生と交流を図る とやまの高校生留学促進事業 <ul style="list-style-type: none"> 高校生等の異文化理解を深め、我が国と海外の国との相互理解と友好親善に寄与する人材育成のため、県内高校生等に留学支援金を給付し、海外留学の促進を図る とやま型スーパーグローバルハイスクール事業 <ul style="list-style-type: none"> ふるさとに誇りと愛着を持ちながら、国際的素養を身につけ、地域や国際社会の課題を解決できる人材を育成するため、海外大学等での研修実施校を支援 学習支援等大学生派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> 県内および近県の教員志望の大学生を小学校の外国語活動の授業補助者として派遣 <p>■ 科学に対する関心を高め科学的才能を引き出して伸ばす教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> とやま科学オリンピックの開催 <ul style="list-style-type: none"> 中・高校生を対象に、数学・理科分野を中心とした幅広い思考力を問うとともに、実験・観察も取り入れた富山ならではの大会の開催 ふるさととやまの自然・科学探究推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 富山の自然を通じて科学的な考え方を養うため、自然・科学実験教室を開催 「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」代表チーム研修 <ul style="list-style-type: none"> 「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」の全国大会に出場する本県代表チームの研修を実施 学習支援等大学生派遣事業(再掲) <ul style="list-style-type: none"> 県内および近県の教員志望の大学生を理科の「観察実験アシスタント」等として小学校に派遣 スーパーサイエンスハイスクール事業 <ul style="list-style-type: none"> 「探究力」や「マインド」を向上させるSTEAM教育プログラムについて研究し、課題研究を推進することで、Society5.0時代において新しい価値を共創できる文理の枠を超えた科学技術系人材育成プログラムの開発を目指す 	<p>6,892</p> <p>5,067</p> <p>14,400</p> <p>20,700</p> <p>57,386</p> <p>644</p> <p>179,260</p> <p>1,724</p> <p>26,670</p> <p>5,147</p> <p>17,386</p> <p>5,521</p> <p>8,800</p> <p>90</p> <p>533</p> <p>5,521</p> <p>1,217</p>

(2) 社会で生きる実践的な力の育成	■キャリア教育の充実 ・社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業 県内全公立中学2年生(義務教育学校8年生を含む)全員が5日間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加	14,629
	・【拡】富山型キャリア教育充実事業(再掲) 県立高校におけるキャリア教育の充実を図るため、「アカデミック・インターンシップ」や「アントレプレナーシップ育成支援」などを含めた「社会へ羽ばたく17歳の挑戦」事業を推進	14,081
	・【新】親子でSTEAM体験事業 小学生の科学的思考力を高め、未来を担う科学技術人材の育成を図るため、親子で想像力を働かせながら取り組む科学工作・実験及び体験活動を実施	1,200
	■ライフプラン教育の充実 ・とやまの高校生ライフプラン教育充実事業(再掲) 高校生の赤ちゃんふれあい体験の実施、ライフプラン教育に関する副教材の活用等	1,700
	・とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業 デジタルブックの活用やライフデザインセミナー、乳幼児とのふれあい体験を通して、小・中学生が自らの生き方を考えるライフプラン教育を系統的に実施	352
(3) 教員の資質向上	■産業教育の充実 ・とやまの高校生マイスター育成事業 地域の産業界を牽引する職業人材の育成・定着促進を図るため、ものづくりや農業クラブ活動、資格取得に向けた生徒への支援を実施し、マイスターとして認定する	3,500
	■教員の計画的な採用と採用者数の平準化 ・「富山で先生になろう」応援事業 優れた教員を安定的に確保するため、教員UIターンセミナーや教員養成講座等を実施するほか、教員の魅力発信等を実施する	12,000
	・採用前研修事業 富山大学と連携した教員採用内定者に対する採用前研修の実施	500
	■教員が子どもと向き合いやすい環境整備の推進 ・学校多忙化解消推進事業 教員が子どもと向き合いやすい環境を整えるため、学校での働き方改革の周知啓発や必要な環境整備等を実施	457
	・スクール・サポート・スタッフ配置事業 教員の負担軽減を図るため、学習プリントの準備等の業務を支援するスクール・サポート・スタッフを全ての市町村立小・中・義務教育学校及び特別支援学校(小・中学部)に配置	305,864
	・【新】教頭マネジメント支援員配置事業 円滑な学校運営と教頭の働き方改革推進のため、教頭マネジメント支援員を希望する市町村に配置	14,380
	・【新】学力向上推進教員配置事業(再掲) 教育の質の向上や働き方改革推進のため、専科指導と少人数指導を行う教員を小学校に配置	182,505
	・【拡】部活動指導員配置促進事業 部活動指導員を配置することで、教員の負担軽減と競技力の向上を図る	48,440
	・高校版スクール・サポート・スタッフ配置事業 教員の負担軽減と障害者雇用促進のため、高校版スクール・サポート・スタッフを県立学校に配置	191,660
	・退職教員等活用推進事業 インターネットを活用し、学校現場への退職教員等の活用を図る	2,368
	・教育環境のデジタル化推進事業 「富山県教育DX推進会議」の運営等を通して、学校におけるデジタル環境の整備やICT教育の総合的・計画的な推進を図る	2,074
	・【拡】情報通信技術支援員派遣委託事業 ICTの活用により全ての子ども達の学びを保障できる環境を整備し、学校におけるICT教育の支援体制を強化するため、情報通信技術支援員の派遣回数を拡充し、ネットワークトラブル等への対応やICT機器のメンテナンスなどについて更なる支援を実施	18,682
	・【新】公立学校情報機器整備基金事業 市町村立小・中・義務教育学校及び公立特別支援学校小・中学部における情報機器(児童生徒用1人1台端末等)の整備に必要な財源を安定的に確保するため、基金を設置	619,003
	・【新】デジタル採点ソフト効果検証事業 教職員の多忙化解消のため、県立高校において一部の採点業務のデジタル化を試行的に実施	3,220
	■教員研修の充実 ・職務や経験等に応じた教員研修の実施 若手教員研修、中堅教員研修、管理職研修など	5,448
	・教師力向上支援事業 教員が国内外の教育事情視察などにより見聞を広め、今日的な教育課題に対する確かな対応ができるよう資質向上を図る	3,665
	・教師の学び支援塾事業 熟達した教員、退職教員等により若手教員のニーズに応じた研修を支援・実施し、優れた教育理念や指導技術等の継承を図る	1,500

(4)私立学校教育の 振興	■私立学校の特徴ある教育に対する支援	
	・私立学校特色教育振興事業 私立学校が行う創意と工夫を凝らした様々な特色ある教育や多様な教育ニーズへの対応等 に対する支援	179,763
	・私立学校施設設備整備補助事業 魅力ある教育環境を整えるために私立学校が行う施設・設備整備に対する支援	3,000
	■私立学校への生徒就学の支援	
	・【拡】私立高等学校等生徒への修学支援事業 就学機会の確保を図るため、私立高等学校等に通う生徒の授業料や入学時納付金を 支援するとともに、授業料以外の教育費に対する給付金を支給	1,592,209
	・私立小中学校生徒奨学補助金 保護者の失職等により家計が急変した私立小中学校生の授業料を減免する学校法人への 支援	2,352

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
普段(月～金曜日)学校の授業時間以外に 1時間以上学習している児童生徒の割合	小6:57% 中3:66%	小6:70% 中3:70%	「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりど れくらいの時間、勉強をしますか。」の質問に対して、「3時間 以上」「2時間以上3時間より少ない」「1時間以上2時間より少 ない」のいずれかの選択肢を回答した割合の合計
「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」の実施状況 (中学校)	94%	100%	「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業を実施している中学校、義 務教育学校の割合
高校生の赤ちゃんふれあい体験を実施し た学校数(再掲)	12校	増加させる	県立高校における「高校生の赤ちゃんふれあい体験」を実施 した学校数
教職員の研修や研究会の成果を教育活 動に積極的に反映させている学校の割合	小:34% 中:38% (R3)	小:50% 中:50%	「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教 育活動に積極的に反映させていますか」の質問に対して、「よ くしている」と回答した学校の割合

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	10 家庭・地域の教育力の向上
政策目標	子どもたちが、学校、家庭、地域の連携・協力のもと、安全・安心な環境の中で、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、健やかに成長していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)社会全体で子どもを育む教育環境づくり	■地域や大学等との連携などによる学校の教育活動の支援 ・社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業(再掲) 県内全公立中学2年生(義務教育学校8年生を含む)全員が、5日間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加	14,629
	・【拡】富山型キャリア教育充実事業(再掲) 県立高校におけるキャリア教育の充実を図るため、「アカデミック・インターンシップ」や「アントレプレナーシップ育成支援」などを含めた「社会へ羽ばたく17歳の挑戦」事業を推進	14,081
	・とやまの高校生ライフプラン教育充実事業(再掲) 高校生の赤ちゃんふれあい体験の実施、ライフプラン教育に関する副教材の活用等	1,700
	・とやまの小・中学生ライフプラン教育充実事業 デジタルブックの活用やライフデザインセミナー、乳幼児とのふれあい体験を通して、小・中学生が自らの生き方を考えるライフプラン教育を系統的に実施	352
	・とやまの高校生マイスター育成事業(再掲) 地域の産業界を牽引する職業人材の育成・定着促進を図るため、ものづくりや農業クラブ活動、資格取得に向けた生徒への支援を実施し、マイスターとして認定する	3,500
	・とやまの特別支援教育強化充実事業 ー小中学校巡回指導員及び高等学校巡回指導員の配置や外部専門家の派遣による学校への支援の充実 ー管理職や教務主任等を対象とした研修や、11年次教職員研修において小中学校の全教員が特別支援学校での体験研修を行うなど、特別支援教育における教員の専門性の向上	11,086
	・【拡】SDGsインクルーシブ教育システム推進事業 ーインクルーシブ教育システムの理念の啓発のための情報発信 ーインクルーシブ教育推進員による小中学校への学びの場の見直しへの助言	3,600
	・【新】特別支援学校地域就労支援アドバイザー配置事業 ー職場開拓・マッチング、地域就労機関との連携、学校におけるキャリア教育の助言、情報提供を一体的に行う特別支援学校地域就労支援アドバイザー2名を配置	6,000
	・【新】特別支援学校医療的ケア児登校サポート事業 ー特別支援学校に在籍する医療的ケア児の登校支援として福祉タクシーに同乗する看護師の経費を支援	3,080
	・武道指導者資質向上支援事業(再掲) 武道の授業に地域の人材を派遣し、教員の指導力の資質向上を図る	4,300
	・スポーツエキスパート活用推進事業(再掲) ー県立学校の運動部活動に地域の優れたスポーツ指導者をテクニカルエキスパート、トレーニングエキスパートとして派遣 ー市町村が行う中学校へのスポーツエキスパート派遣に対する支援	11,666
	・とやま元気っ子スポーツライフサポート事業 運動指導方法の研修会や体育授業への専門家の派遣等により、運動好きな子どもの育成とともに体力向上を図る	750
	・学習支援等大学生派遣事業 県内および近県の教員志望の大学生を学習補助者として小学校等に派遣し、児童・生徒の学習意欲の向上や学校生活の安定を図る	
	ー学びのアシスト推進	1,889
	ースタディ・メイト・ジュニア派遣	644
	ー実験観察アシスタント	1,359
	ー心のサポーター派遣	565
ー英語学習パートナー派遣	1,064	
ー外国人支援スタッフ派遣(別予算)		
(2)豊かな心を育む地域の教育力の充実	■ふるさと学習や自然体験活動の推進 ・公民館deつながるモデル事業 地域住民の交流の拠点である公民館がこれまで提供してきた集合対面型の事業とデジタルを組み合わせ、人々が多様につながる新たな公民館活動の創出を支援する	2,000
	・親子で学ぶインターネット活用術体験事業 家庭でのネットの活用の仕方やルールを、親子で動画制作やインターネットへの配信を通して学び、安全なネット活用の実践を目指す また、親子で学び、家族で動画製作するなどにより、家庭の絆を深め、「とやま県民家庭の日」の活動を促進する	1,200

(3)家庭の教育力の向上	■親自らが親の役割について学ぶ活動の普及・充実 ・とやま親学び推進事業(再掲) 「親学びリーフレット(小・中学生編)」「親学びリーフレット(乳幼児編)」の保護者への配布、 「とやま親学び推進協議会」の設置、リーダー等の養成・配置により、乳児から 中学生の子どもをもつ親を対象とした「親学び講座」の充実・推進	2,991
	■家庭教育に関する相談体制の充実 ・家庭教育総合相談事業 子育て情報ホームページによる情報提供や、電話相談やカウンセリング、電子メール 相談等の実施	3,997
	■家庭教育に関する情報提供の充実 ・ほっとネット!とやま家庭教育ナビ事業 子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する情報を提供	1,200
	■子どもの自主的な読書活動の推進 ・子どもの読書活動推進事業 家庭・地域・学校における子どもの自主的な読書活動を推進する	2,001
(4)児童等の安全の確保	■子どもたちの安全を確保する取組への支援 ・子どもの登下校安全対策事業 市町村で委嘱するスクールガード・リーダーの配置、学校安全パトロール隊等に要する 経費について支援するもの	1,664
	・学校安全アドバイザー派遣事業 モデル校に学校安全アドバイザーを派遣し、防犯・防災の危機管理マニュアルと避難訓練 の見直しを実施	424

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
「社会に学ぶ『14歳の挑戦』の実施状況(中学校)(再掲)	94%	100%	「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業を実施している中学校、義務教育学校の割合
公民館における地域課題の解決に向けた学びや自然体験・ふるさと学習への参加人数	8,121人	10,000人	公民館における地域課題の解決に向けた学びや自然体験・ふるさと学習への参加人数
「親学び講座」参加総数	21,828人	39,000人	「親学び講座」に参加した人数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	11 大学教育の振興とコンソーシアム等の活性化
政策目標	大学等の高等教育機関を中核として、個性豊かで創造的な人材育成の拠点や国内外に発信する学術研究の拠点が形成されているとともに、高等教育機関と連携した地域振興の取組みが幅広く進められていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 高等教育機関の教育研究体制の充実支援	■学会等の開催に対する助成 ・学会等開催事業費補助金による助成	24,000
	■四年制私立大学における教育研究の充実支援 ・各私立大学に対する寄附講義の設置 ・(公財)富山県ひとづくり財団を通じた私立大学等振興事業への助成	3,000 7,500
	■大学コンソーシアムの運営支援	7,796
	(2) 高等教育機関による地域連携や地方創生の取組みへの支援	■県立大学の学生募集活動の強化、県内定着の促進 ・県立大学戦略的広報事業(再掲) 9,438 ・県立大学学生募集強化事業(再掲) 40,267 ・県立大学県内就職定着促進事業(再掲) 26,163 ■県内高等教育機関が行う地域貢献活動等への支援 ・大学コンソーシアムの運営支援(再掲) 7,796 ■リカレント教育の推進 ・リカレント教育等産学官連携推進事業 産学官が連携し、リカレント教育の普及啓発に取り組むとともに、県内高等教育機関が行うリカレント教育の取組みを支援 1,965 ・県立大学ビジネスパーソン・スキルアップ支援事業(再掲) 4,800 ■高大連携の強化 ・高大連携未来を拓く人材育成事業(再掲) 1,700 県内大学等と県立高校が連携し、大学教員による高校での専門性の高い特別授業や、探究科学科設置校等による合同発表会を開催 ■産学官連携による最先端プロジェクトや専門人材育成への支援 ・地方大学・地域産業創生くすりコンソーシアム推進事業(再掲) 234,000 医薬品産業の振興や専門人材の育成・確保を推進 ・【拡】アルミ産業成長力強化戦略推進事業(再掲) 52,069 循環型アルミ産業網の競争力を強化するため、アルミのリサイクルに向けた研究開発の支援や人材育成等を実施 ・【拡】ヘルスケア産業育成創出事業(再掲) 56,650 ヘルスケア分野での新たな産業創出を目指し、「とやまヘルスケアコンソーシアム」による県内企業のヘルスケア産業への参入と、新製品開発・新事業創出を支援 ・県立大学DX教育研究センター運営事業(再掲) 59,095 産学官金の連携教育研究拠点として、DXを担う人材育成と研究を推進
(3) 県と高等教育機関との連携強化	■医学生や看護学生への修学資金の貸与による地域医療人材の確保や、寄附講座の設置等による医師及び看護職員の育成及び県内定着促進 <医師> ・地域医療確保修学資金貸与事業(再掲) 116,724 医学部の定員増により入学する富山大学及び金沢大学の医学生に対する修学資金の貸与等 ・とやま地域医療連携ネットワーク推進事業(再掲) 40,000 医学生等のキャリア形成支援、医師不足・偏在状況の調査分析、医師の派遣調整等を行う寄附講座を富山大学附属病院に設置し、医師不足の県内医療機関を支援 ・地域医療フレキシブル体験推進事業 5,000 特別枠の医学生による自主企画型の地域医療体験実習を実施し、地域医療に対する意識の涵養を図る <看護職員> ・看護学生修学資金貸与事業(県大枠30名) 48,384 県内での就業を希望する県立大学看護学生に対する貸与	

(4) 高等教育機関の 国際交流の促進	■外国人留学生の受入れの拡大	
	・国際交流奨学金の支給、国民健康保険加入助成(再掲) 外国人留学生が充実した留学生活を送るための支援	9,640
	・アセアン地域等からの外国人留学生受入・定着促進事業(再掲) アセアン地域やインドからの留学生の採用を希望する県内企業と連携し、大学院入学 から就職までを一体とした留学生の受入れを実施	15,893
	■県内大学生等の海外留学への支援	
・県内大学生等留学支援事業(再掲) 海外に留学する県内大学生等を経済的に支援するため、県内企業への一定期間勤務を 返還免除要件とした奨学資金を貸与	5,200	
	■大学コンソーシアムの運営支援(再掲)	7,796

<参考>
活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
県立大学の公開講座受講者数(再掲)	820人	710人	富山県立大学の公開講座の年間受講者数 (H29:447人 ⇒ H30:283人 ⇒ R1:306人 ⇒ R2:837人 ⇒ R3:240人 ⇒ R4:820人)
医学生修学資金延べ貸与者数(再掲)	468人	576人	医学生に対する修学資金の貸与制度を開始した平成17年 度以降の延べ貸与者数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	13 生涯にわたる多様な学びの推進
政策目標	すべての世代の県民が、それぞれの目的やニーズ、社会の新たな課題に応じて、学習の機会や場を選択して学び、その成果を地域で還元し、活躍の場が提供されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)多様な学習活動の支援	■県民カレッジにおける学習機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> 県民生涯学習カレッジ運営費 <ul style="list-style-type: none"> 県民カレッジ本部・地区センター、県映像センターの運営 各種企画講座、ボランティア講師と塾生の自主運営による自遊塾、夏季講座、学遊祭の開催等 ウェルビーイング実現講座 <ul style="list-style-type: none"> 地域、健康、居住、人間関係、自然など各分野の観点から、ウェルビーイングを学ぶ「地区センター講座」と、総論的な内容で講演会を開催する「本部講座」の実施 ■社会教育団体や生涯学習施設を通じた学びの支援 <ul style="list-style-type: none"> 公民館deつながるモデル事業(再掲) <ul style="list-style-type: none"> 地域住民の交流の拠点である公民館がこれまで提供してきた集合対面型の事業とデジタルを組み合わせ、人々が多様につながる新たな公民館活動の創出を支援する 【新】県立図書館魅力向上発信事業 <ul style="list-style-type: none"> 多様な人・世代が利用・交流できる図書館となるよう中高生の探究学習支援講座の開催や児童生徒向けコーナーの整備等を実施 	65,752 2,800 2,000 24,000
(2)県民の学習を支える基盤整備	■生涯学習情報ネットワークシステムによる情報提供の充実 <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習情報ネットワーク事業 <ul style="list-style-type: none"> 県民カレッジの生涯学習情報サイト「とやま学遊ネット」による情報収集と提供 公民館からの地域情報発信への支援 ■地域の担い手となる人材育成と学習者の交流・活躍の場の提供 <ul style="list-style-type: none"> つながる学びわくわく講座 <ul style="list-style-type: none"> 地方創生の観点から、地域コミュニティの再生、地域の歴史と文化の見直し、自然保護などをテーマに、体験と学びを通じた「つながる楽しさ」を提供する講座の実施 	6,638 1,830
(3)キャリアを磨く実践的な学びの推進	■専修学校等におけるキャリア形成教育の充実支援 <ul style="list-style-type: none"> 私立専修学校特色教育振興事業補助金 <ul style="list-style-type: none"> 私立専修学校の特色ある教育への支援 私立専修学校等リカレント教育推進事業補助金 <ul style="list-style-type: none"> 私立専修学校等が実施する社会人を対象とした短期間講座開催費の支援 	22,600 650

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
県立大学の公開講座受講者数(再掲)	820人	710人	富山県立大学の公開講座の年間受講者数 (H29:447人 ⇒ H30:283人 ⇒ R1:306人 ⇒ R2:837人 ⇒ R3:240人 ⇒ R4:820人)
「とやま学遊ネット」の登録情報件数	142,760件	148,000件	富山県民生涯学習カレッジの生涯学習情報提供ネットワークシステム「とやま学遊ネット」に登録してある、講座、イベント、施設、講師等の件数
県立大学の社会人向けセミナー受講者数	175人	130人	富山県立大学における社会人向けセミナーの年間受講者数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	14 ふるさとを学び楽しむ環境づくり
政策目標	県民一人ひとりが、ふるさとの自然、歴史・文化、産業等について学び、理解を深めることにより、ふるさとへの誇りと愛着を育んでいること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)学校におけるふるさと学習の推進	■ふるさとに関する学習活動の推進 ・ふるさととやまの自然・科学探究推進事業(再掲) 富山の自然を通じて科学的な考え方を養うため、自然・科学実験教室を開催 90 ・高校生郷土史・日本史学習教材活用事業 県立高校において、デジタル化した補助教材を用いて郷土史・日本史学習を行う 537	
	■郷土の食文化等への理解の促進 ・未来につなぐ「農」と「食」普及啓発事業(再掲) 地域食材を通じた農作業・調理等の子どもの体験学習への支援 1,400 ■異文化交流体験の推進 ・【拡】環日本海インターハイ事業 環日本海諸国の高校生とスポーツを通じて国際交流 18,200 ・高等学校生徒海外派遣事業(再掲) 高校生を海外に派遣し、現地高校生と交流を図る 26,670 ・とやま型スーパーグローバルハイスクール事業(再掲) ふるさとに誇りと愛着を持ちながら、国際的素養を身につけ、地域や国際社会の課題を解決できる人材を育成するため、海外大学等での研修実施校を支援 17,386	
(2)家庭、地域におけるふるさと学習の振興	■ふるさとの歴史や産業、くらしの特徴等を学び理解を深める機会の充実 ・県民ふるさとの日記念事業 「県民ふるさとの日(5月9日)」に県有施設の無料開放を実施 2,580 ・日本海学推進事業(再掲) 日本海学推進機構を中心とした日本海学事業の実施 6,734 ・富山湾の魅力体験親子教室開催事業(再掲) 富山湾の魅力や不思議を親子で体験し学習する教室を開催 700	
	■ふるさとへの誇りと愛着を育む機会の充実 ・生涯学習情報ネットワーク事業(再掲) 県民カレッジにおける各種講座の開催や情報収集、ネットワークを通して、ふるさと教育の推進を図る 6,638 ■公民館等によるふるさと学習や身近な自然体験活動の推進 ・公民館deつながるモデル事業 地域住民の交流の拠点である公民館がこれまで提供してきた集合対面型の事業とデジタルを組み合わせ、人々が多様につながる新たな公民館活動の創出を支援する 2,000 ・地域と学校の連携・協働体制構築事業(再掲) 放課後や土曜日等において、学校の余裕教室等を活用して幅広い地域の方々の方々の参画により学習支援や様々な体験・交流活動を実施する。また、コミュニティ・スクールの導入・充実に向けた取組みを支援する。 57,386 ・田んぼの生き物調べ事業 子どもたちの田んぼや用水等での生き物調査の実施 369 ■人材の発掘・養成と活用策の充実 ・富山ふるさとマスター派遣事業 「富山ふるさとマスター」を研修会に講師として派遣 800 ・【新】食のブランド推進事業(再掲) とやま食文化懇談会を開催し、食を支えるヒト・モノ・技を発信 3,000 ・つながる学びわくわく講座 地方創生の観点から、地域コミュニティの再生、地域の歴史と文化の見直し、自然保護などをテーマに、体験と学びを通じた「つながる楽しさ」を提供する講座の実施 1,830	

(3)文学館などにおけるふるさと文学の振興	■富山県ゆかりの文学の魅力の紹介	35,781
	・高志の国文学館企画展等開催事業	
	・高志の国文学館魅力発信事業	25,999
	高志の国文学館魅力発信事業 高校生のための令和万葉教室、ふるさと文学連続講座、朗読と音楽の夕べの開催など、ふるさと文学の魅力紹介等	
	■ふるさと文学に親しみ・学ぶ機会や深く調べ・発表し、創作する場の提供	
	・【新】しあわせを伝えよう！絵てがみ作品募集事業	7,000
	高志の国文学館において、ウェルビーイングをテーマとする絵てがみ作品を募集・展示	
	・「雲の向こうはいつも青空」事業	3,000
	高志の国文学館が幅広い世代の「学びの場」「憩いの場」となるようさまざまな取組みを企画・実施	
	・文学を楽しもう！移動文学館事業	900
ふるさと文学作品や企画展の内容を小中学校・高等学校等に出張展示		
・高志の国文学館指定管理料	109,323	
・高志の国文学館魅力発信事業(再掲)	25,999	
■富山県ゆかりの貴重な文学資料の収集・保管		
・高志の国文学館資料収集・保管事業	10,000	
富山県ゆかりのふるさと文学に係る資料の購入やレプリカ製作、資料発掘専門員の配置等		

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
高志の国文学館研修室等年間利用件数	1,612	2,000	文学館内の研修室・和室の年間利用件数

「元氣とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	15 県民が芸術文化と出会い、親しむ環境づくり
政策目標	県民一人ひとりが幅広く芸術文化活動と出会い、親しむ環境の整備により、優れた文化を鑑賞する機会などの充実が図られるとともに、県民自らが誇りとなる文化を知り、発信されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)身近なところで優れた文化を鑑賞する機会の充実	<p>■芸術文化を鑑賞・創造・発表する機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民芸術文化祭の開催 県民の文化活動への関心や参加意欲の一層の高揚を図るため、国民文化祭の成果を継承、発展させる事業として開催 ・県美術展の開催 県内美術家の優秀作品を奨励し、新たな美術家を発掘する公募美術展の開催 ・美の祭典 越中アートフェスタの開催 幅広い県民が参加し、新しいジャンルを取り入れた公募美術展の開催 ・富山県美術館での企画展・常設展の開催 「エッセチャー展」、「IPT2024」等 ・水墨美術館での企画展・常設展の開催(再掲) 「没後100年 富岡鉄斎展」、「魅惑の摘水軒コレクション」等 ・高志の国文学館での企画展等の開催 ・金岡邸・内山邸文化の魅力再生事業 夜桜鑑賞会や観月の会、梅園茶会・コンサートの実施等 ・とやまアーティストマッチング事業 県民が文化に触れる機会の拡充と県内芸術家の活動の場の拡大のため、県民の活動依頼に合わせた県内芸術家等の派遣調整等を実施 <p>■文化施設の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立文化施設機能強化推進事業 各施設を持つ機能充実・強化のため、県立文化ホールや博物館の設備等修繕を実施 <p>■芸術文化団体の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま舞台芸術祭の開催支援 舞台芸術の聖地・利賀芸術公園等において、県内芸術文化団体が中心となって行う優れた舞台芸術の創造と交流を支援 ・芸術文化団体の活動支援 本県の芸術文化の振興を図るため、県内芸術文化団体の活動への助成 	<p>17,700</p> <p>11,300</p> <p>5,300</p> <p>128,481</p> <p>52,677</p> <p>35,781</p> <p>2,670</p> <p>9,500</p> <p>200,000</p> <p>20,000</p> <p>4,290</p>
(2)次世代を担う子どもたちの文化に親しむ機会の充実	<p>■次世代を担う子どもたち、青少年の文化活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年美術展の開催支援 中学生から25歳までを対象とした公募美術展の開催 ・こども舞台芸術祭の開催支援(再掲) 子どもたちや児童文化運動を進める団体・個人が日頃の創作活動の成果を発表する とやまこども舞台芸術祭の開催 ・次世代育成音楽ふれあい事業 室内楽フェスティバルや0歳から参加できるコンサートの開催など、県民に身近な場所で質の高い音楽鑑賞の機会を創出 ・公立文化ホールネットワーク事業 各施設の特徴や地域のニーズを活かして実施される公立文化ホールの共同公演事業を支援 ・美術館へおいでよ事業 県下の小・中・高校、特別支援学校から応募があった学校を対象に富山県美術館へ招待し、学芸員やエディューケーターが展覧会の案内や制作体験をサポート ・文学を楽しもう！移動文学館事業 ふるさと文学作品や企画展の内容を小中学校・高等学校に出張展示 	<p>2,500</p> <p>1,800</p> <p>18,000</p> <p>10,000</p> <p>4,878</p> <p>900</p>
(3)美術館を中心とした県民が芸術活動と出会い、楽しむ場の創出	<p>■文化との出会いの場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県美術館でのオープンラボの実施(再掲) 富山県美術館のアトリエで、子どもから大人まで誰でも気軽に楽しめるワークショップ「オープンラボ」の開催 ・富山県美術館教育普及活動事業(再掲) アトリエやギャラリーを活用した体験型鑑賞ツアーや、県内外から有名作家を講師に招いての特別講座の開催、学校・教育関係及び地域との連携等 	<p>262</p> <p>7,721</p>

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
高志の国文学館研修室等年間利用件数 (再掲)	1,612	2,000	文学館内の研修室・和室の年間利用件数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	16 県民が芸術文化の創造に参加し、交流する機会の充実
政策目標	県民一人ひとりが幅広く芸術文化の創造活動に参加するとともに、文化を通じた交流が活発に行われていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)文化を通じた子どもたちの交流の促進	■文化を通じた子どもたちの交流の促進 ・とやまこども舞台芸術祭の開催支援 子どもたちや児童文化運動を進める団体・個人が日頃の創作活動の成果を発表するとやまこども舞台芸術祭の開催	1,800
(2)アートとデザインをつなぎ、双方向の美術体験をする場としての富山県美術館	■富山県美術館の活用 ・富山県美術館での企画展・常設展の開催 「エッシャー展」、「IPT2024」等 ・富山県美術館教育普及活動事業 アトリエやギャラリーを活用した体験型鑑賞ツアーや、県内外から有名作家を講師に招いての特別講座の開催、学校・教育関係及び地域との連携等 ・美術館へおいでよ事業(再掲) 県下の小・中・高校、特別支援学校から応募があった学校を対象に富山県美術館へ招待し、学芸員やエデュケーターが展覧会の案内や制作体験をサポート ・富山県美術館広報普及活動事業 県内外に向けた効果的な広報活動の実施	128,481 7,721 4,878 5,833
(3)県民が芸術文化の創造に参加し、交流できる場の拡充	■ワークショップや公開制作による創造活動の機会の充実 ・富山県美術館での公開制作 県外から芸術家を招き、アトリエなどで創作活動を行う公開制作「アーティスト@TAD」の実施 ・富山県美術館でのオープンラボの実施 富山県美術館のアトリエで、子どもから大人まで誰でも気軽に楽しめるワークショップ「オープンラボ」の開催 ・【新】しあわせを伝えよう！絵てがみ作品募集事業 高志の国文学館において、ウェルビーイングをテーマとする絵てがみ作品を募集・展示	5,550 262 7,000
(4)文化の次世代の担い手の育成	■芸術文化活動の指導者や若手芸術家の育成 ・次世代育成音楽ふれあい事業(再掲) 室内楽フェスティバルや0歳から参加できるコンサートの開催など、県民に身近な場所で質の高い音楽鑑賞の機会を創出 ・とやまアーティストマッチング事業(再掲) 県民が文化に触れる機会の拡充と県内芸術家の活動の場の拡大のため、県民の活動依頼に合わせた県内芸術家等の派遣調整等を実施	18,000 9,500

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
富山県美術館で実施するワークショップの参加者数	8,279人	5,000人	富山県美術館のアトリエ等で実施するワークショップの参加者数(延べ人数)

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	17 質の高い文化の創造と世界への発信
政策目標	世界に誇れる質の高い芸術文化の創造や発信が行われ、世界中から芸術文化人が集う芸術文化の拠点の形成がされていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)国際的な視野を持つ、次世代を担う人材育成の推進	■次世代の文化的人材の育成 ・創造型・舞台芸術人材育成プログラム 国内外の演劇人を対象としたスズキ・トレーニング・メソッド、国内外の若手演劇人と多国籍の俳優による共同作品の創造等	47,500
(2)世界に誇れる質の高い文化の創造や世界各地とダイレクトに繋がる国際的な文化交流の推進	■特色ある国際的な芸術文化の充実と発信 ・利賀サマー・シーズン開催事業 利賀に拠点を置く劇団SCOTや国内外から招聘する芸術団体による世界一流の舞台公演を通じ、本物の舞台芸術に触れる機会を提供	20,500
	■歴史や文化などを通じた富山の魅力の再発見と発信 ・立山博物館企画展の開催 特別企画展「立山・白山・富士山を巡る」展等 ・【拡】立山博物館を中核とした文化観光拠点計画の推進 国から認定を受けた計画に基づき立山エリアにおける文化観光を推進し、観光誘客と地域活性化を図るため、拠点施設である立山博物館の展示の磨き上げや情報発信を実施 ・【拡】とやまの文化魅力発信・周遊促進事業 本県が誇る、有形・無形の文化財や特色ある美術館・博物館などを周遊するツアーの造成等を支援 ・【新】四館連携推進事業 本県が誇る個性豊かな富山県美術館・水墨美術館・立山博物館・高志の国文学館の四館が連携・強化した企画展やイベント、広報PRを実施	20,999 106,328 2,000 22,000
(3)本県文化の魅力を国内外に発信	■本県工芸文化の魅力を国内外への発信 ・とやまKOGEI魅力発信事業 本県で開催した工芸の公募展の入選者や、作品制作プログラムの参加者など、本県在住で活躍している若手工芸作家の情報をWebサイトで発信 ■美術館や文学館等による文化の魅力発信 ・富山県美術館での企画展・常設展の開催 「エッセチャー展」、「IPT2024」等 ・高志の国文学館での企画展等の開催(再掲) ・「雲の向こうはいつも青空」事業(再掲) 高志の国文学館が幅広い世代の「学びの場」「憩いの場」となるようさまざまな取組みを企画・実施 ・【新】水墨美術館魅力向上・発信事業 水墨美術館の収蔵品をデータベース化し、HPにて公開	2,500 128,481 35,781 3,000 1,000

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
富山県内で行われる芸術文化活動の創造に参加する外国人アーティストの人数	約320人	500人	芸術文化活動の創造のため、富山県を訪れている外国人アーティストの人数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	18 スポーツに親しむ環境づくりの推進
政策目標	県民の誰もが、それぞれの興味、関心、適性等に応じて、スポーツを「する、みる、支える」活動に参画し、主体的にスポーツを楽しんでいること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 県民がスポーツに親しむ環境づくり	■気軽にスポーツに参加できる機会づくりの推進 ・マラソン大会開催事業 スポーツの振興や新たな富山県の魅力の創造、関係人口の拡大を目的として、マラソン大会を開催 ・富山県スポーツフェスタ運営費補助金 子どもから高齢者まで、トップアスリートからスポーツ・レクリエーション愛好者までの幅広いスポーツ志向に対応した総合的なスポーツ大会の開催 ・【拡】県民スポーツ機会創出事業 県民のスポーツ活動への参加を促進し、体験型スポーツイベント「Enjoy! スポーツとやま」や地域での「週イチスポーツ教室」を開催して、スポーツに親しむ機会を創出 ・県民歩こう運動推進事業 県民の健康づくりを推進するため、県民歩こう運動推進大会やとやまウォーキングチャレンジ(仮称)を開催 ・障害者スポーツ活動総合推進事業 障害者のスポーツ人口の拡大や交流の推進、競技水準の向上を図るため、全国障害者スポーツ大会への派遣や障害者スポーツ教室、富山県障害者スポーツ大会等を開催 ・県民向け自転車普及啓発事業(再掲) 自転車の更なる利用促進や安全・安心な自転車社会の実現に向けて、自転車普及イベントの開催や、マナー向上のための啓発を実施	89,620
	■総合型地域スポーツクラブの育成・支援 ・広域スポーツセンター事業補助金 総合型地域スポーツクラブの広域事業を実施	10,110
	■スポーツ環境の充実と学校体育施設の開放推進 ・スポーツ施設リフレッシュ事業 県営体育施設の環境整備、機能充実等 ・県営体育施設管理費 県営体育施設の運営管理 ・学校体育施設開放促進事業 県立学校の体育館、グラウンドの地域住民への開放 ・【新】障害者スポーツ環境整備事業 障害者のスポーツ環境の充実を図るため、県立学校の体育館の改修工事を実施 ・【拡】富山県武道館整備事業 富山県武道館整備基本計画(令和5年9月改定)に基づき、基本設計を実施 ・【新】県総合運動公園の魅力向上事業 県武道館の整備を契機として、県総合運動公園の魅力向上のため、民間事業者を主体とする公園全体の最適管理運営手法を調査 ・【新】文化・スポーツ施設の予約システム導入推進事業 利用者の利便性向上に向け、希望する市町村と共同調達により予約システムを導入	7,500
	■県民へのスポーツ情報の提供 ・とやまスポーツ情報ネットワーク等によるスポーツ情報の提供	2,000
	■「みるスポーツ」の機会づくりの推進 ・全国的・国際的大会開催費補助金 全国的・国際的規模の大会の本県開催に対する支援 ・ガンバレ富山応援バス事業 プロスポーツの県内競技会場への観戦者送迎に対する支援	22,666
	■望ましい生活・運動習慣の定着と体力向上の推進 ・とやま元気っ子スポーツライフサポート事業 運動指導方法の研修会や体育授業への専門家の派遣等により、運動好きな子どもの育成とともに体力の向上を図る ・【拡】とやまっ子ワクワク運動体験応援事業(再掲) 未就学期の「運動遊び」を普及・啓発することで、親子による運動遊びの機会を増やすと共に、児童の運動継続と健康的な生活習慣の定着を支援し、「運動好き」な子供の育成を図る	6,194
	・【参考】R6予算額	255,840
	・【参考】R6予算額	502,259
	・【参考】R6予算額	5,245
	・【参考】R6予算額	33,700
	・【参考】R6予算額	72,400
	・【参考】R6予算額	20,000
	・【参考】R6予算額	16,800
	・【参考】R6予算額	1,800
・【参考】R6予算額	1,400	
(2) 子どものスポーツ機会の充実による運動習慣の定着と体力の向上	■望ましい生活・運動習慣の定着と体力向上の推進 ・とやま元気っ子スポーツライフサポート事業 運動指導方法の研修会や体育授業への専門家の派遣等により、運動好きな子どもの育成とともに体力の向上を図る ・【拡】とやまっ子ワクワク運動体験応援事業(再掲) 未就学期の「運動遊び」を普及・啓発することで、親子による運動遊びの機会を増やすと共に、児童の運動継続と健康的な生活習慣の定着を支援し、「運動好き」な子供の育成を図る	750
	・【参考】R6予算額	5,400

	<p>■学校体育の充実や運動部活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】部活動指導員配置促進事業(再掲) 教員の負担軽減と競技力の向上を図るため、部活動指導員を配置 ・とやま元気っ子スポーツライフサポート事業(再掲) ・武道指導者資質向上支援事業 武道の授業に地域の人材を派遣し、教員の指導力の資質向上を図る <p>■体力づくりや運動習慣等に関する情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の体力づくり活動の取組みを、インターネット活用により促進 	48,440 750 4,300
(3)スポーツを支える人材の育成と活用	<p>■スポーツ指導者やボランティアの確保と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「パスネットとやま」による指導者等の情報提供、利活用の促進 <p>■地域のスポーツ指導者の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま元気っ子スポーツライフサポート事業(再掲) ・武道指導者資質向上支援事業(再掲) ・スポーツエキスパート活用推進事業(再掲) ー県立学校の運動部活動に地域の優れたスポーツ指導者をテクニカルエキスパート、トレーニングエキスパートとして派遣 ー市町村が行う中学校へのスポーツエキスパート派遣に対する支援 <p>■スポーツ顕彰制度の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま県民スポーツ大賞等の贈呈 スポーツの普及・振興及びスポーツを通じた地域の活性化や子供の体力向上に貢献した個人や団体の功績を讃え、賞を贈呈 	750 4,300 11,666 672
(4)プロスポーツや企業と連携した地域の活性化	<p>■プロスポーツ選手等が子どもたちに直接指導するスポーツ教室開催の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツチームによるキャリア教育推進事業 プロスポーツチームによる子どもの健全育成やキャリア教育の推進を主眼に置いたスポーツ教室の開催 <p>■プロスポーツチームの運営会社による地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】プロスポーツチーム地域貢献活動活性化事業 プロスポーツチームが取り組む地域貢献活動事業等に対する支援 <p>■福祉施設児童等のプロスポーツ観戦の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設児童等ホームゲーム招待事業 児童養護施設の児童や障害児等の無料招待に対する支援 <p>■プロスポーツチームとの連携による富山県PRの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】とやまのプロスポーツ魅力PR・関係人口拡大推進事業 プロスポーツチームが取り組むスポーツを通じた県の魅力PRや関係人口の拡大の取組みに対し、支援 <p>■スポーツを通じた地域の活性化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】地域スポーツコミッションの設立に向けた調査研究事業 富山県版のスポーツコミッションの設立に向けて調査・研究 	3,600 60,500 1,800 4,800 2,500

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
県立学校へのスポーツエキスパート派遣者数 (県単事業となったH17年度以降の累計)	2,981人	3,582人	運動部活動の活性化を図ることを目的とした、地域の専門的なスポーツ指導者の県立学校への派遣者数
とやま県民スポーツ大賞の受賞者数 (H18年度事業開始後の累計) ※H18～R2年度は元気とやまスポーツ大賞として実施	1,470人	1,750人	スポーツの普及・振興に尽力した方及びスポーツを通じた地域の活性化や子供の体力向上に貢献した個人や団体の功績を讃え表彰する「とやま県民スポーツ大賞」の受賞者数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	19 全国や世界の檜舞台で活躍する選手の育成
政策目標	ジュニア期からの発掘・育成・強化が進み、数多くの本県選手が全国や世界の檜舞台で活躍していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 全国の檜舞台で活躍できる選手の育成	■ジュニア期から強化に取り組む一貫指導体制の推進 ・未来のアスリート発掘事業 将来のスポーツ界を担う人材の発掘・育成を目的に、スポーツ能力に優れた児童に対する運動プログラム等の実施を支援 ・エリートユース育成事業 豊かな素質を持つ中・高校生選手を長期的に育成・強化することを目的に、県内スポーツ拠点施設等を活用した、競技別強化練習会等の実施を支援 ・スポーツエキスパート活用推進事業 ー県立学校の運動部活動に地域の優れたスポーツ指導者をテクニカルエキスパート、トレーニングエキスパートとして派遣 ー市町村が行う中学校へのスポーツエキスパート派遣に対する支援 ・競技団体に対する選手強化費補助金 合宿遠征、アドバイザートレーナー招へい、高体連強化事業、強化指定事業、選手強化対策事業や事務局費を県スポ協へ補助し、競技力向上を目的に支援	6,000
	■主力競技等の重点強化 ・サッカー・野球・駅伝強化事業 重点強化種目であるサッカー・野球・駅伝について、一貫指導体制に基づいた効果的な強化策を実施 ・富山県スポーツ選手重点強化プロジェクト推進事業 県スポーツアドバイザーの指導・助言のもと、少年種別の重点強化を実施	25,000 11,666 141,601
	■トップアスリートの育成 ・国際競技力向上推進事業 年代別全日本選手等への海外大会参加等の支援を行い、オリンピックや国際大会に出場する本県選手の増加を目指す ・富山県民スポーツ応援団トップアスリート支援事業 オリンピック等の世界の檜舞台での活躍が期待される選手等の活動を支援	10,500 3,017
	■強化拠点の整備 ・TOYAMAアスリートマルチサポート推進事業 スポーツ医・科学に基づく一貫した体カトレーニング体制を構築し、将来オリンピックや世界で活躍できる選手を育成 ・スーパートレーナー設置事業補助金 オリンピック等で日本代表選手をサポートした経験のある専門知識を有したトレーナーが県選手を支援	9,200 6,309

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
未来のアスリート指定児童数 (H17年度事業開始からの累計)	1,099人	1,300人	未来のアスリート発掘事業における指定児童数(スポーツ能力に優れた小学生男女を対象に指定)
オリンピック大会等国際大会出場者数 (H27年度事業開始からの累計)	117人	175人	各競技種目において、年間開催される国際大会(4年毎のオリンピック競技大会を含む)への出場者数
TOYAMAアスリートマルチサポート事業指定選手数(H22年度事業拡充後の累計)	9,595人	12,500人	医・科学的な検査・測定に基づき、トレーニングメニューの提供・指導等を実施した強化指定選手数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	20 多様なボランティア・NPO活動の推進
政策目標	ボランティアやNPOが幅広い人々の参加のもと、地域づくりや公共サービスの新たな担い手として、様々な分野において活発に活動し、活躍していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 幅広い県民のボランティア活動の参加促進	■幅広い県民のボランティア活動への参加促進と活動支援 ・富山県民ボランティア・NPO大会 ボランティア意識の啓発とボランティアの活動紹介等を行う富山県民ボランティア・NPO大会の開催 ・児童・生徒、地域のボランティア活動推進事業 地域の多様な関係団体・機関とともに、地域でのボランティア活動や福祉教育の学びの場を設定 ・高校生介護体験特別事業 介護等体験指定校とした高等学校で、高齢者、障害(児)者等に対する介護等に関する事業を実施 ・【新】若者・大学・企業等協働連携促進事業 地域課題の解決に向けて多様な主体が協働・連携して取り組むための交流会を開催	2,559
	■ボランティアの人材育成 ・【拡】災害ボランティアセンター実践力向上支援事業(再掲) 災害救援ボランティアセンターの情報発信力の強化など被災地支援の向上を図るための研修、訓練を実施 ・児童・生徒、地域のボランティア活動推進事業(再掲) 地域のボランティアグループとの連絡調整を行うボランティアサポーター研修の実施 ・NPOチャレンジプロジェクト事業 若者のボランティア・NPO活動参加促進のため、大学生を対象にNPO団体で地域貢献活動を体験するプロジェクトを実施	2,940
	■ボランティア・NPO活動・交流拠点の機能の充実 ・ボランティア活動拠点施設の管理・運営 ボランティア交流サロンの充実 ・富山県民ボランティア総合支援センターの運営支援 NPO支援の拠点である当該センターによるNPO支援、ネットワーク促進の取組みや運営に対して助成 ・県ボランティアコーディネーターの設置支援 富山県ボランティアセンターのコーディネート活動への支援 ・市町村ボランティアコーディネーターの設置支援 地域のボランティア支援の中核となる市町村ボランティアセンターのコーディネート活動への支援	600
	■災害救援ボランティア活動の強化 ・災害関係機関との連携促進 災害時に救援ボランティア活動を円滑に行うため、関係機関等で構成する県災害ボランティア連絡会を開催 ・【拡】災害ボランティアセンター実践力向上支援事業(再掲) 災害救援ボランティアセンターの情報発信力の強化など被災地支援の向上を図るための研修、訓練を実施 ・災害ボランティアバンク事業 LINE公式アカウント「富山県災害ボランティアバンク」により、災害ボランティアに関する情報をプッシュ型で配信 ・災害ボランティア活動費補助 災害復旧期の被災者支援活動を行う団体を支援 県外の被災地へ向かうための災害ボランティアバスの運行	800
	■消防団員確保対策の支援 ・市町村が行う消防団活動の活性化(施設・装備の充実や消防団員の確保等)に向けた取組みに対する支援(再掲) ・【拡】消防団充実強化推進事業(再掲) 消防団の認知度向上や団員確保を図るため、機能別団員や女性消防団員をPRするための広報活動等を実施	2,100
		2,940
		600
		6,145
		13,881
		22,482
		21,142
		12
		2,100
		1,061
		5,268
		6,000
		1,500

(2)NPOの活動基盤の安定・強化	■NPOのマネジメント力の強化支援 ・NPO法人支援講座・DX推進事業 NPO法人等に対して、運営力の強化等を目的としてマネジメント力向上研修やニーズに応じた各種相談会を開催	1,200
	■NPOに関する情報提供や活動事例の紹介 ・NPO情報の収集・提供の充実 ー情報誌やインターネットを活用した、各種講習会や民間の助成制度等の情報提供 ーNPO情報やイベント開催、ボランティア募集等の情報サイトの充実	494
(3) 多様な主体が公共サービスを担うための協働事業の推進	■NPOの組織・財政基盤の充実を図る活動への支援 ・NPO法人支援講座・DX推進事業 NPO法人等に対して、運営力の強化等を目的としてマネジメント力向上研修やニーズに応じた各種相談会を開催 ・NPO法人支援税制による税負担の軽減 一定の要件を満たす場合に、法人県民税均等割、不動産取得税、自動車取得税等を全額免除、自動車税について課税を免除	1,200
	■NPOへの寄附の推奨 ・NPOへの寄附を顕彰する制度の設置	
(3) 多様な主体が公共サービスを担うための協働事業の推進	■協働事業の推進 ・関係人口1,000万人協働促進事業 県内のNPO法人等が他の団体等と協働し、地域課題解決や地域活性化に取り組む活動等に対し、広域交流・ワカモノ活動促進・県民協働活躍の3つの観点で補助	4,720
	・【新】若者・大学・企業等協働連携促進事業 地域課題の解決に向けて多様な主体が協働・連携して取り組むための交流会を開催	800
	■協働相談体制の充実 ・ボランティア総合支援センター内に協働の相談窓口を設置し、協働のマッチング等を支援	5,882
	■自発的、主体的な取組みの拡大と自立的活動の支援 ・関係人口1,000万人協働促進事業(再掲) 県内のNPO法人等が他の団体等と協働し、地域課題解決や地域活性化に取り組む活動等に対し、広域交流・ワカモノ活動促進・県民協働活躍の3つの観点で補助	4,720

<参考> 活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー登録者数	251人	増加させる	災害時に災害ボランティア本部の運営を担う、災害救援ボランティアコーディネーター及びリーダーへの登録者数
認定NPO法人数	6法人	10法人	NPO法人から税制上の優遇措置が大きい認定NPO法人への移行法人数
県とNPOとの協働事業数	123事業	増加させる	県とNPOが協働で取り組む事業数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	21 若者の自立促進と活躍の場の拡大
政策目標	すべての若者が社会的・職業的に自立し、企業や社会の一員として県内でいきいきと活躍していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)若者の自立の総合的な支援	<p>■社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を支援する取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども・若者育成支援事業 富山県子ども・若者支援地域協議会の運営、相談支援人材の育成など市町村や地域における取組みを促進 子ども・若者総合相談センターの運営 子ども・若者に関する相談にワンストップで対応する総合相談センターの運営 <p>・【拡】ヤングケアラー支援対策事業 ヤングケアラーの早期発見・適切な支援につなげるための体制整備、ヤングケアラーへの理解促進・認知度向上のための啓善啓発、支援が必要な家庭へのヘルパー派遣等を実施</p> <p>■富山県若者就業支援センター(ヤングジョブとやま)等による若者就業促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ヤングジョブとやま等運営事業 若年者に対する職業相談、情報提供、合同企業説明会・セミナー、職業紹介を実施 <p>■NPO等や関係機関との連携による若者の自立促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者自立支援ネットワーク形成事業 富山県若者サポートステーションにおいて、NPO等の関係機関と連携し、ニート等の若者の自立を支援 <p>■若者の職業能力開発支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者の技能検定受検料負担の軽減 ものづくり分野等における若年者の技能向上を支援するため、若年者の技能検定受検料を減免し、受検しやすい環境を整備 	<p>321</p> <p>7,863</p> <p>11,500</p> <p>23,383</p> <p>7,962</p> <p>1,710</p>
(2)職業意識の早期形成を目指したキャリア教育	<p>■キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】富山型キャリア教育充実事業(再掲) 県立高校におけるキャリア教育の充実を図るため、「アカデミック・インターンシップ」や「アントレプレナーシップ育成支援」などを含めた「社会へ羽ばたく17歳の挑戦」事業を推進 <p>■大学生等のインターンシップ参加支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】多様なインターンシップ導入支援事業(再掲) 大学1～2年生などの低年次から参加しやすい、魅力的なインターンシップの導入に向けた中小企業の取組みを支援 	<p>14,081</p> <p>13,610</p>
(3)県内企業への就職の促進	<p>■大学生等を対象とするセミナーなどの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやまUターン就職応援事業(再掲) 学生人気業界セミナー、就職女子応援カフェの開催や就職活動等に必要な交通費助成を実施 ・【新】学生と企業の交流強化事業(再掲) 県内への就職を促進するため、学生と県内企業が直接交流できる機会を提供 <p>■UIJターン就職の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏大学UIJターン就職パートナーシップ事業(再掲) 早稲田大学との就職支援協定による新規事業創造インターンシップの開催など県外大学との連携強化のほか、企業視察会等を実施 ・富山県理工系・薬学部生対象奨学金返還助成事業(再掲) 本県産業の人材確保を支援するため、県内企業に就職する理工系・薬学部生の奨学金返還を助成 	<p>8,496</p> <p>6,400</p> <p>12,451</p> <p>6,114</p>

<参考> 活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
ヤングジョブとやまの利用者数	18,233人	30,000人	ヤングジョブとやまの利用者数
富山くらし・しごと支援センターを通じた就職者数	235人	300人	県外の求職者(学生・社会人)が、県が首都圏等に設置する「富山くらし・しごと支援センター」を通して県内企業にUターンした就職者数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	22 男女共同参画社会づくり
政策目標	男女がともに、個性と能力を十分に発揮する機会が確保されるとともに、経済・社会の活性化に向けてあらゆる分野で女性が活躍していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 性別による固定的役割分担意識の解消	■男女共同参画の普及啓発 ・男女共同参画推進員事業 男女共同参画推進員による普及啓発活動の実施 ・富山県民共生センター指定管理 男女共同参画に関する各種講座の充実 ・【拡】「中高生×富山で働く女性」交流促進事業(再掲) 進学・就職前の中高生が自身のキャリアデザインの中に県内での就職を視野に入れてもらう機会をつくるため県内で働く女性社員との懇談会や企業訪問を実施 ・【新】アンコンシャス・バイアス気づき発信事業 性別によるアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)への気づきとその解消に向けた行動を促進	7,150 133,689の一部 3,500 5,950
(2) 政策・方針決定過程への女性の参画の促進	■事業者・団体等に対する女性の登用・活躍促進の働きかけ ・【拡】煌めく女性ネットワーク事業(再掲) 「煌めく女性リーダー塾」を開催するとともに、卒業生等が交流できるように、オンラインも活用したコミュニティを形成 ・女性のキャリアブランク解消講座開催事業(再掲) 結婚・出産等による離職や産休・育休等、女性特有のキャリアのブランク(空白期間)にある女性の復帰を支援するための講座の実施	5,500 1,420
(3) 女性が能力を発揮し、あらゆる分野で活躍できる環境づくり	■企業における男女共同参画の推進 ・男女共同参画チーフ・オフィサーの設置(再掲) 企業のトップや役員クラスに男女共同参画チーフ・オフィサーを委嘱し、女性の登用や働きやすい就業環境の整備など、事業所における男女共同参画を推進 ・働き方改革等の横展開推進事業(再掲) 「働き方改革・女性活躍サポーター」、「イクボス企業同盟とやま」、当課HP(Good!! Work & Lifeとやま)、デジタル広告を活用して働き方改革の横展開を促進 ・企業と従業員のウェルビーイング創出事業(再掲) 企業における働き方改革や女性活躍の取組みを促進するため、開催時期やテーマなど希望に応じて専門の講師を派遣 ・【拡】企業成長×女性活躍プロジェクト推進事業(再掲) 企業における女性活躍の取組みを推進するため、企業経営者向けセミナーの開催や女性活躍専門コンサルタントを派遣するとともに、「とやま女性活躍企業」認定拡大に向けた支援を実施 ■男女共同参画計画等の普及啓発 ・【新】働き方改革・女性活躍サポート事業(再掲) 従業員のウェルビーイング向上に資する取組みや、生産性向上に向けた働き方改革や女性活躍に資する取組みを支援 ・女性が変える未来の農業推進事業 地域のリーダーとなり得る女性農業経営者の育成を図るとともに、女性が働きやすい環境整備を支援	3,230 2,970 7,900 5,500 6,100

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
煌めく女性リーダー塾の卒業生の数(累計)(再掲)	529名	659名	女性の自己研鑽と業種・職種の枠を超えたネットワーク構築を図るため開催する「煌めく女性リーダー塾」の卒業生の人数(累計)
働き方改革に関するワークショップ等の受講者数(累計)	479名	660名	企業の人事労務担当者等を対象とした働き方改革関連のワークショップ等を受講した者(累計)

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	23 グローバル社会における地域づくり・人づくり
政策目標	外国人にとっても日本人にとっても暮らしやすい、多文化が共生する地域づくりが進んでいるとともに、環日本海地域やアジアをはじめとする各国地域との幅広い交流・協力のもと、グローバルに活躍する人材が集い、育っていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)多文化共生の地域づくり	■地域におけるコミュニケーションの支援 ・富山県外国人日本語学習支援事業 日本語ボランティアの育成、地域日本語教室へのアドバイザー派遣 ・【拡】富山県地域日本語教育体制整備事業 外国人が地域社会の一員として安心して生活し活躍できるよう日本語教育環境を整備	980 13,260
	■外国人住民の生活支援の充実 ・外国人住民地域防災力向上事業 災害時における外国人支援のための研修・訓練の実施 ・外国人ワンストップ相談センター運営事業 行政・生活全般の情報提供・相談を多言語で行う一元的相談窓口の運営 ・女性相談センターにおける外国人女性のための通訳サポートの実施 ・医療機能情報提供システム運営費 とやま医療情報ガイドHPに外国語対応可の医療機関情報を掲載 ・外国人入居希望者の入居手続きの円滑化 外国語版の県営住宅募集案内、県営住宅入居者の手引きを窓口で配布	556 14,570 10 7,852 325 (全体) (全体)
	■教育(外国人児童生徒等)に関する支援 ・外国人相談員の配置 ・富山県外国人児童生徒教育推進運営協議会の開催 県、市町村教委、校長会代表、NPO団体等で組織し、外国人児童生徒教育の推進に向けた県、地域における帰国・外国人児童生徒等の現状と課題の整理並びに支援体制等について協議 ・外国人児童生徒教育コーディネーターの配置 モデル校において、外国人児童生徒が在籍する学級担任、日本語指導担当教員、外国人相談員等との連携を図り、個別の指導計画に基づく実践研究を行うため、外国人児童生徒教育コーディネーターを配置 ・外国人支援スタッフ(学生)の配置 県内および近県の教員志望の大学生を外国人支援スタッフとして県内の小・中・義務教育学校に派遣し、学校生活や学習などについて支援 ・外国人児童生徒教育実践講座 外国人児童生徒等の日本語指導について教員等への研修を実施	13,749 104 1,334 502 60
	■多文化共生の地域づくり ・とやま国際塾 高校生を対象とした多文化共生や国際協力を推進するセミナーの開催	240
	■多文化共生施策の計画的・総合的推進 ・富山県外国人材活躍・多文化共生推進連絡会議の開催 県、市町村、国、国際交流団体等で組織。外国人材活躍や多文化共生の推進に向けた取組みの調整、情報共有、意見交換 ・多文化共生フォーラム開催事業 日本人住民と外国人住民が多文化共生に関する理解を深めるためのフォーラムの開催	87 900

(2)グローバルに活躍する人材の積極的な受入れ・育成と活用	■外国人留学生の受入れの拡大 ・国際交流奨学金の支給、国民健康保険加入助成 外国人留学生が充実した留学生活を送るための支援	9,640
	・アセアン地域等からの外国人留学生受入・定着促進事業 アセアン地域及びインドからの留学生の採用を希望する県内企業と連携し、大学院入学から就職までを一体とした留学生の受入れを実施	15,893
	■外国人材の確保・育成 ・アジア高度人材受入事業(再掲) アジア諸国の理系大学生等理系大学の学生等の県内就職・活躍につなげるため、採用選考会や「富山就職プログラム(日本語研修等)」を実施するなど、採用から受入まで一体的に支援	18,909
	・外国人材日本語習得サポート事業 企業等が実施する外国人材への日本語研修に補助するとともに、技能実習生の日本語習得におけるモチベーション向上のため「技能実習生日本語スピーチコンテスト」を開催	3,300
	・【拡】外国人材採用・就職サポートデスク事業(再掲) 県内企業の高度外国人材等の普及を促進するため、「外国人材活用支援デスク」において、企業の外国人材受入れを総合的に支援	3,800
	・【新】外国人材地域交流促進事業 外国人材を受け入れる新制度創設を見据え、長期就労先として外国人材から選ばれるため、県内企業等が行う外国人材との地域交流や共生の取組みを支援	2,400
	・外国人介護人材受入施設等環境整備事業(再掲) 介護施設等において、外国人介護人材を受け入れるための環境整備等を支援	3,000
	・【新】介護特定技能外国人マッチングから定着までの一体支援事業(再掲) 外国人介護職員のさらなる受入れ促進に向け、1号特定技能外国人のマッチングから定着までの一体的なサポート体制を構築	4,600
	■友好提携先等との交流を通じた人材育成の推進 ・友好提携先等からの留学生受入事業 南米及びインド・アンドラプラデシュ州からの留学生の受入れ	9,689
	■友好提携先等の発展を担う人材の育成協力 ・海外研修員とやま魅力体験事業 友好提携先から研修員を受入れ、従来の県内企業での研修と日本語研修に加え、新たに富山研修・文化体験を実施して富山をPRし、富山愛好家を海外に広め、関係人口の増加に繋げる	7,600
	・多文化共生推進研修員受入事業 ブラジルの教育経験者を研修員として受入れ、日本の教育制度の習得及び教育現場での外国籍児童の学習を支援	4,107
	・青年海外協力隊事業 青年海外協力隊やシニア海外ボランティア等、JICAボランティアへの参加促進支援	220
	■青少年の国際理解と国際交流の促進 ・国際交流員の配置(国際交流員等設置・調整事業) 国際交流員(中国、ブラジル、ロシア、アメリカ、韓国、インド、ベトナム)を配置し、国際理解教育や交流活動を推進	42,462
	・経済・貿易連絡員の配置 友好提携先である中国遼寧省との「交流と協力の深化に関する覚書」に基づき、経済・貿易連絡員を配置し、経済・貿易の情報交流を強化	6,184
	・語学指導等を行う外国青年招致事業(再掲) 英語を母国語とする外国青年を招致し、外国語指導助手(ALT)として県立学校及び総合教育センターに配置	179,260
	・英語・グローバル教育充実事業(再掲) 高度な英語力を持ち、世界で活躍するグローバル人材を育成するため、各校で設定した学習到達目標の活用を促進し、全県で英語指導の一層の充実を図る	1,724
	・高等学校生徒海外派遣事業(再掲) 高校生を海外に派遣し、現地高校生と交流を図る	26,670
	・とやまの高校生留学促進事業(再掲) 高校生等の異文化理解を深め、我が国と海外の国との相互理解と友好親善に寄与する人材育成のため、県内高校生等に留学支援金を給付し、海外留学の促進を図る	5,147
	・とやま型スーパーグローバルハイスクール事業(再掲) ふるさとに誇りと愛着を持ちながら、国際的素養を身につけ、地域や国際社会の課題を解決できる人材を育成するため、海外大学等での研修実施校を支援	17,386

(3)多様な国際交流・協力活動への支援	■県民や民間団体の主体的かつ多様な国際交流・協力活動の促進 ・公益財団法人とやま国際センターの運営支援 国際化に係る事業を総合的に実施するとやま国際センターの運営を支援 ・友好提携先等との交流を推進する民間交流団体に対する活動支援	69,222
	■海外拠点を活用した多様な国際交流 ・大連事務所の運営 中国における活動拠点として、県民、企業、大学等が実施する経済、学術、文化、スポーツなどの各種交流活動を支援	22,500
	■本県滞在経験者のネットワークの充実と活用 ・富山ファン倶楽部の運営 富山県での滞在経験があり、富山の魅力をよく知る中国の方々を会員とし、会員相互の交流や富山県と中国との各分野における交流活動を実施 ・とやま名誉友好大使の委嘱 富山のよき理解者として、世界の国々と富山県の友好の架け橋となってもらうため、県内に一定期間以上滞在した外国人に「とやま名誉友好大使」の称号を授与	31,006
	■友好提携先等との国際交流・協力の推進 ・友好提携先等への職員派遣事業 MOUに基づく交流事業を円滑に推進するため、オレゴン州に県職員を派遣と一般財団法人自治体国際化協会(クリア)への県職員派遣 ・友好記念奨学金交付事業 遼寧省内の高校又は大学で日本語を学ぶ学生やサンパウロ大学で日本語、日本文学を専攻する学生に奨学金を支給 ・【新】富山県人会世界大会開催準備事業 富山県人会世界大会のR7年度開催に向け、開催準備に係る実行委員会を立ち上げるほか、機運醸成のため南米県人会の若手会員を招聘したイベントを実施 ・【新】インド経済訪問団派遣事業(再掲) インドでのビジネス展開の拡大、アンドラプラデシュ州との経済交流等を促進するため、経済訪問団を派遣 ・【新】台湾半導体産業交流事業(再掲) 台湾電子設備協会の富山県訪問団を受け入れ、台湾企業と県内半導体・電子デバイス関連企業等との経済交流を促進 ・ASEANビジネスサポートデスク設置事業(再掲) 成長著しいベトナムへの県内企業の進出等を後押しする取組みにより、海外展開を促進 ・ASEAN諸国等との経済交流促進事業(再掲) 県内でのビジネスセミナーの開催を通じ、MOUを締結しているタイ・ベトナム・インドAP州等との経済交流を促進 ・ポートランド起業・ビジネス研修実施事業 県内大学生等の起業家マインドを醸成するため、「起業の街」である米国オレゴン州ポートランド等において研修を実施	1,140
	■環日本海・アジア地域との交流・協力の推進 ・北東アジア地域自治体交流推進事業 北東アジア地域自治体連合(NEAR)への参画と関係自治体等の連携 ・アジア経済交流事業補助金(再掲) アジア地域を中心とした海外ビジネス展開に関する情報の発信、専門アドバイザーの配置と無料コンサルティングの実施、貿易・投資セミナーの開催、海外ビジネスアドバイザーによる総合的な支援	83
	■日本海学の推進 ・日本海学の普及推進に資する調査・検討 日本海学の学術研究調査活動及び情報発信 ・日本海学推進機構運営費 日本海学講座及び日本海学シンポジウムの開催 県内大学(富山大、富山国際大、県立大)での日本海学講座の開講等	16,856
		5,655
		7,500
		13,000
		1,200
		9,000
		500
		23,760
		1,416
		26,095
		745
		6,734

<p>■環日本海地域等における環境協力活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新】NOWPAP設立30周年・RCU富山事務所開設20周年記念事業 NOWPAP設立30周年・RCU富山事務所開設20周年を記念し、 国連やNOWPAPの活動への理解促進のため、県民向けのシンポジウムを開催 ・NOWPAP協力事業 NOWPAP RCU富山事務所の運営協力 パネル展示等によるNOWPAPの広報 ・北東アジア地域自治体連合(NEAR)環境分科委員会推進事業(再掲) NEAR環境分科委員会を開催し、「2016とやま宣言」を踏まえた取組みの実施状況や今後の プロジェクトなどを協議 ・NOWPAP推進事業(再掲) NOWPAPと連携した海洋生物多様性保全や富栄養化対策等の推進等 ・漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業(再掲) 国際的な海岸漂着物の調査活動体験等を通じた発生抑制の促進、漂着物アート展を通じた 普及啓発を実施 ・富山湾リモートセンシング事業(再掲) 人工衛星を活用した遠隔観測技術による富山湾沿岸部の海草藻場分布の推定 ・北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業(再掲) 北東アジア地域の青少年による意見交換や環境保全活動を実施し、次世代のリーダーを育成 ・北東アジア地域環境ポスター展推進事業(再掲) 北東アジア地域の子どもたちの環境ポスターを集め、富山県で展示会を開催 	<p>2,000</p> <p>66,519</p> <p>510</p> <p>18,000</p> <p>7,568</p> <p>650</p> <p>1,500</p> <p>242</p>
--	---

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
日本海学講座・日本海学シンポジウムの参加者数	341人 (R5)	535人	日本海学推進機構が実施する日本海学講座及び日本海学シンポジウムの1年間の参加者数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	24 「くらしたい国、富山」の発信による移住の促進
政策目標	富山の暮らしの魅力発信や首都圏をはじめとした大都市圏との交流人口の拡大、地域での受入れ体制の強化等により、本県への移住者が増加していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)「くらしたい国、富山」のイメージの発信強化・定着	■定住関連情報発信の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】とやま移住魅力発信・強化事業(再掲) 移住検討者を選ばれる県となるため、地域ニーズと移住者をマッチングするセミナーなどのイベント開催や、先進的な事業に取り組み、本県の魅力を効果的に伝え、移住促進を図る。 ・「くらしたい国、富山」推進本部運営事業 定住促進の専用ホームページの運営、メールマガジンやダイレクトメール、定住ガイドブックによる情報提供 	22,000 2,676
(2)都市との交流人口の拡大	■滞在型観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「富山で合宿！」誘致事業 部活動やサークル活動等の合宿を誘致するため、合宿経費に対して助成 ■グリーン・ツーリズムの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・とやま農泊ネットワーク推進事業(再掲) 富山県農泊推進ネットワーク会議を運営し、農泊に取り組む地域等の育成や、誘客促進に係る取り組みを実施 ・とやま帰農塾推進事業(再掲) 田舎暮らし体験を通じた二地域居住、定住促進のための「とやま帰農塾」を開催 ・【新】都市農村交流アンバサダー事業(再掲) 若者が普段使用する情報媒体での情報提供及び若者ニーズに合った都市農村交流の企画 ・【新】都市農山漁村交流推進事業(再掲) 県内で実施中の都市農山漁村交流事業について、各事業の情報を集約したポータルサイトの構築 ■都市農村交流と担い手確保の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・都市農山漁村地域共創事業(再掲) 地域資源を活用した都市農村交流や地域づくりの担い手確保のための活動を支援 ・【新】とやまノーム(農務)ステイ事業(再掲) 中山間地域に外部人材が短期的に滞在し、地域と協働で農作業を行い、交流を通じて関係人口を創出する取り組みを試行的に実施 ・【新】都市農村交流サクセッサー事業(再掲) 県内の都市農村交流事業を実施する団体の後継者不足解消に向けた現状を調査 ■関係人口の創出、移住・二地域居住の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーション・テレワーク推進事業 ポータルサイトでの情報発信や地域とつなぐコーディネートの実施及びワーケーション・テレワークを実施する県外企業等への支援 ・ご縁でつながる関係人口創出事業 富山との「縁」を活かした企業等における物産展の開催や県外で開催されるイベント等に出展 ・ウェルビーイング・デジタルコミュニティ活性化支援事業 令和5年度に開設したデジタルコミュニティの運営や、参加者同士の交流の活性化に向けた取り組みの支援 ・とやま移住支援交通費助成事業 移住検討者が富山県に訪問(移住相談、就職活動等)する際の交通費・宿泊費を支援 ・空き家活用モデル支援事業 多拠点居住用住宅、コワーキング施設など、多様化する空き家活用ニーズに対応するため、今後の空き家活用のモデルとなる取り組みを支援 ・中山間地域ローカルの魅力発掘・発信事業 中山間地域の関係人口を創出するため、特色ある活動に取り組むローカルプレイヤーとの交流等を体験するツアーを実施 ・富山“Re-Design”ラボ事業(再掲) 首都圏などで活躍する人材が富山大学の協力研究員として半年間富山に住み、リカレント教育を受けながら県内企業の経営課題の解決に取り組む。企業支援や求職者支援を実施 	10,000 9,010 5,301 4,500 7,500 7,300 4,000 1,000 4,000 3,600 6,000 3,500 4,500 4,217 4,000
(3)富山県の恵まれた就労環境の魅力のPR・暮らしと仕事の一元的な相談体制の充実	■暮らしと仕事の一元的な相談体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・富山くらし・しごと支援センター運営事業 富山くらし・しごと支援センター(東京有楽町・大手町、大阪、名古屋、富山)におけるくらしとしごとのワンストップ相談体制の充実等、Uターン就職や移住の促進 ・【新】移住相談者情報管理システム導入事業 移住相談窓口業務のサービス向上を図るため、相談者の情報を記録・分析する管理システムを整備する。 	63,682 3,000

	■ 恵まれた就労環境のPR <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】とやま移住魅力発信・強化事業(再掲) 移住検討者に選ばれる県となるよう、満足度の高いイベント開催や相談窓口等でのVR導入などにより、本県の魅力を効果的に発信 ・富山サテライトオフィス整備支援事業(再掲) 市町村と連携し、サテライトオフィス施設の整備を支援 ・【新】学生と企業の交流強化事業(再掲) 県内への就職を促進するため、学生と県内企業が直接交流できる機会を提供 	22,000 5,800 6,400
(4) 本県出身者への効果的な情報発信によるUターンの促進	■ Uターンの促進 <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】移住支援金交付事業 東京圏から移住し、県内の中小企業等に就職又は起業した場合に、市町村と連携し支援金を交付 また、卒業後に県内に移住・就職する東京圏の大学生を対象に就職活動に要する交通費を市町村と連携し支援 ・とやまUIターン起業支援事業 県外在住者で、本県に移住し県内での起業を目指す者を対象に、創業に係る経費及び移住のための費用を支援し、起業を志す人材のUIターンでの起業を促す ・大都市圏大学UIターン就職パートナーシップ事業(再掲) 早稲田大学との就職支援協定による新規事業創造インターンシップの開催など県外大学との連携強化のほか、企業視察会等を実施 ・とやまUターン就職応援事業(再掲) 学生人気業界セミナー、就職女子応援カフェの開催や就職活動等に必要交通費助成を実施 ・富山県理工系・薬学部生対象奨学金返還助成事業(再掲) 本県産業の人材確保を支援するため、県内企業に就職する理工系・薬学部生の奨学金返還を助成 ・【拡】多様なインターンシップ導入支援事業(再掲) 大学1～2年生などの低年次から参加しやすい、魅力的なインターンシップの導入に向けた中小企業の取組みを支援 ・富山版「プロフェッショナル・副業兼業人材確保プロジェクト」実施事業(再掲) 県プロフェッショナル人材戦略本部を拠点に、県内金融機関等と連携し、県内企業のプロフェッショナル人材や副業・兼業人材とのマッチングを支援 	90,960 37,000 12,451 8,496 6,114 13,610 42,400
(5) 地域における移住者受入れ体制の強化	■ 定住・半定住者を受け入れる地域の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・移住者受入モデル地域育成支援事業 ソフト事業への支援(限度額 300万円) 移住者の受入に意欲的な地域をモデル地域として選定し、移住者受入計画の作成及びソフト事業を支援(例:セミナー開催、HP開設、最新技術を用いた地域PRなど) ハード事業への支援(限度額 700万円) 移住者受入モデル地域が取り組む施設・備品整備等の環境づくりを総合的に支援 ・空き家活用モデル支援事業(再掲) 多拠点居住用住宅、コワーキング施設など、多様化する空き家活用ニーズに対応するため、今後の空き家活用のモデルとなる取組みを支援 ・地域おこし協力隊定着率向上対策事業 地域おこし協力隊員の受入数増加や県内定着率向上による地域づくりの担い手確保を推進するため、隊員の募集段階から任期終了後までのサポートを一体的に実施 	10,000 4,500 4,720

<参考> 活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
移住促進メールマガジンの読者数	1,630人	1,600人	富山県の移住に関する情報を記載したメールマガジン(毎月配信)の読者数(配信数)
短期滞在型生活体験施設数	13棟	20棟	県外者が県内へ移住するための生活体験施設数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	25 自然や歴史・文化など地域の魅力のブラッシュアップと世界文化遺産登録の推進
政策目標	県内各地域において育まれてきた自然、歴史や伝統文化などの魅力を発掘、再発見するとともに、さらに磨き上げ、次の世代へ継承する活動が活発に行われていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 地域の魅力の発掘・再発見とその情報発信の促進	■郷土の魅力を再発見する「越中富山ふるさとチャレンジ」のPR ・越中富山ふるさとチャレンジ事業 地域の魅力や資源の深掘り・再発見を促すため、県内施設等を巡るモバイルスタンプラリー等を実施	4,000
	■本県を舞台とした映画やドラマ等による富山の魅力発信 ・映画誘致推進事業(再掲) 富山県ロケーションオフィスによる映画やドラマなどの撮影の誘致・支援	10,264
	・【新】海外映像作品誘致促進事業 海外映画等の富山県内撮影を積極的に誘致し、関係人口や県内消費額の拡大を図る。	3,990
	■地域の魅力を発掘し再認識する取り組みの推進 ・美しい景観づくり推進事業(再掲) 景観づくり住民協定締結の取組みや協定に基づき行う修景事業に対する支援	8,245 の一部
(2) 地域の魅力を活かしたまちづくり・賑わいづくり	■水辺を活かした賑わい創出 ・環水公園におけるウェルビーイング向上事業 富岩水上ラインとの連携や、県内若手経営者・学生などの企画力を活用したイベントを環水公園で開催	18,000
	■市町村や住民主体の先導的なまちづくり ・まちづくり総合支援事業 市町村や民間事業者が自主性・主体的に実施する、魅力ある地域環境の整備に向けた先導的なまちづくり事業に対する支援	100,000
	・【新】まちづくり組織創出モデル事業 まちづくりに取り組む組織や人材を育成するため、個性的なまちづくりプロジェクトの立ち上げをモデル的に支援	3,000
	■散居景観の保全・活用 ・散居景観保全事業(再掲) 地域協定に基づく、屋敷林の枝打ち等の散居景観保全活動に対する支援	9,000
(3) 伝統文化・伝統芸能の保存・継承やその魅力発信と観光資源化	■国・県指定文化財の保存修理等の推進 ・五箇山の合掌造り集落等をはじめとする貴重な文化財の保存修理等に対する助成	51,000
	・埋蔵文化財の発掘調査、普及啓発事業等に対する助成	17,500
	・県営ほ場整備事業関連埋蔵文化財発掘調査体制強化事業 県営ほ場整備事業に先立つ試掘調査及び発掘調査	29,972
	・文化財の美装化等推進事業 文化財の外観や公開部分を美しく保つ美装化や、公開活用促進のための防犯・防災、施設整備等への支援	29,834
	■ユネスコ無形文化遺産の魅力発信 ・ユネスコ無形文化遺産情報発信事業 ユネスコ無形文化遺産に登録された3つの曳山行事の普及啓発活動等の取り組みを支援	600
	■伝統文化の魅力の発信 ・「越中おわら」、「麦屋」、「こきりこ」など全国に誇る伝統芸能の演舞会の開催に対する支援	90
	・文化財ボランティアの対応力向上事業 文化財の保存継承を担う人材育成のため、文化財ボランティア団体への研修会の開催を行う。	100
	■埋蔵文化財に対する理解・学習の促進 ・体験学習会等の開催事業 埋蔵文化財センターにおいて、小・中学生を中心に、ふるさとの埋蔵文化財への関心を高める体験学習会や、学習講座を開催	2,000

(4) 世界文化遺産登録や世界ジオパーク認定に向けた活動の促進	■世界遺産登録に向けた活動の展開(立山・黒部)	
	・【新】ICOMOSエクスカージョン開催事業 立山砂防の国際的な認知度、評価を高めるため、海外有識者のエクスカージョンを実施	4,611
	・【新】日本固有の防災遺産「立山砂防」魅力発信事業 立山砂防の歴史や意義、世界遺産登録に向けたあゆみを発信するHPを整備	1,000
	・立山砂防世界遺産登録推進ユースプログラム事業 若い世代を対象として、世界遺産や立山砂防を学ぶプログラムを開催	994
	・世界文化遺産登録推進事業 民間団体が行う普及啓発事業等への支援(立山・黒部、近世高岡の文化遺産群、立山黒部ジオパーク)	6,500
・立山砂防普遍的価値発信事業 立山砂防の世界遺産登録に向け、顕著な普遍的価値を世界に発信するため、国際防災学会2024(オーストリア)での論文発表等を実施	5,570	

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
まちづくり総合支援事業(R4まではまちの未来創造モデル事業及び令和新時代まちづくり推進事業)において民間事業者が取り組む地域数(累計)	11地域	25地域	まちづくり総合支援事業(R4まではまちの未来創造モデル事業及び令和新時代まちづくり推進事業)において県が採択した地域数(民間事業者が主体となり事業を進める地域の累計)
国・県・市町村指定文化財及び登録文化財件数	1,427件	1,425件	富山県内にある文化財保護法に基づく国指定文化財、富山県文化財保護条例に基づく県指定文化財、市町村文化財保護条例に基づく市町村指定文化財件数及び文化財保護法に基づく国登録文化財の総件数
重要文化財勝興寺の保存修理事業進捗率	100%	—	富山県の文化財の代表格として位置付けられる重要文化財勝興寺において、継続的に実施されている大規模保存修理事業の進捗率

「元氣とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	26 地域の個性を活かした景観づくり
政策目標	豊かで美しい自然景観や田園景観が守り育てられ、良好な都市景観の形成が行われるとともに、地域の歴史や文化等の個性を活かした景観づくりが進められていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 歴史・文化など地域の個性を活かした景観づくり	<p>■地域の景観に配慮し、観光振興にも資する美しいまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい景観づくり推進事業 景観づくり住民協定締結の取組みや協定に基づき行う修景事業に対する支援 ・景観づくり重点地域支援事業 景観づくり重点地域(立山・大山地域)における事業者等が行う修景事業に対する支援等 <p>■市町村や住民主体の先導的なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり総合支援事業(再掲) 市町村や民間事業者が自主性・主体的に実施する、魅力ある地域環境の整備に向けた先導的なまちづくり事業に対する支援 ・緑地・遊歩道の整備事業(港湾事業の一部)(再掲) 快適で潤いのある水辺空間の創出 <p>■農業基盤施設整備による美しい田園景観の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい農村景観整備事業(再掲) 農村景観等の保全のための荒廃農地の復元・保全管理の活動に対する支援 ・優良農地を確保するほ場整備等の推進 －農村景観を損なう耕作放棄地の発生を防止する未整備農地の大区画化等整備 －県営農地整備事業(再掲) <p>■散居景観の保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散居景観保全事業(再掲) 地域協定に基づく、屋敷林の枝打ち等の散居景観保全活動に対する支援 <p>■歴史や文化などを活かしたまち並みづくりへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存整備(再掲) －山町筋伝統的建造物群保存地区(高岡市)保存修理への支援 －金屋町伝統的建造物群保存地区(高岡市)保存修理への支援 －吉久伝統的建造物群保存地区(高岡市)保存修理への支援 <p>■市町村の景観計画策定に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい景観づくり推進事業(再掲) 市町村の景観に関する条例の制定又は景観計画を策定に対する支援 	<p>8,245 の一部</p> <p>557 の一部</p> <p>100,000</p> <p>1,462,000 の一部</p> <p>1,000</p> <p>5,426,928 の一部</p> <p>9,000</p> <p>10,000 の一部</p> <p>8,245 の一部</p>
(2) 美しい沿道景観づくり	<p>■屋外広告物の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物適正化推進事業 景観広告とやま賞及び屋外広告物講習会等の実施 <p>■無電柱化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化事業(都市計画街路事業の一部) 市街地や観光地など良好な景観形成が必要な地域において、道路上の電線類の地中化などの実施 	<p>1,039 の一部</p> <p>165,300</p>
(3) 県民参加の景観づくり活動への支援	<p>■景観づくりに関する意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい景観づくり推進事業(再掲) 「うるおい景観とやま賞」の顕彰、景観アドバイザーの派遣、住民及び市町村の景観づくりに対する支援等 <p>■県民緑化運動の推進と花と緑あふれる地域づくりの推進(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「富山のさくら」名所づくり事業 地域振興や観光資源として活用するため、さくらの名所70選のPRとやまさくら守の育成を実施 ・花のまちづくり新拠点創出支援事業(再掲) 緑化活動の低調な地域に対し、(公財)花と緑の銀行が行う重点的な取組みを支援 	<p>8,245 の一部</p> <p>1,007</p> <p>784</p>

<参考>
活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
建築協定等の件数	94件	103件	建築協定、景観づくり住民協定及び緑地協定の件数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	27 豊かで美しい農山漁村の持続的な発展と都市との交流
政策目標	かけがえのない自然、新鮮で安全な食、伝統文化、自然エネルギー等の地域資源の活用や、都市住民との交流などにより、個性豊かで美しい農山漁村が形成されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1) 快適で豊かな農村環境の整備	■地域ぐるみによる地域の資源保全・管理 ・多面的機能支払支援事業 －農地維持支払:多面的機能を支える共同活動を支援 －資源向上支払:農村環境や水路、農道など施設の質的向上を図る活動を支援	1,800,000
	■伝統文化の保全・継承 ・散居景観保全事業 地域協定に基づく、屋敷林の枝打ち等の散居景観保全活動を支援	9,000
	■農業・農村の持つ多面的機能に対する理解の醸成の推進 ・富山県農村環境創造基金事業 市民参加による水土里探訪ウォークの開催など	5,777
	・基幹水利施設管理体制整備促進事業 農業水利施設巡りの開催や、農業・農村の持つ多面的機能を啓発する資料の作成配付	159,418
	■農業用水など地域資源を活用した取組みの推進 ・【新】小水力発電を活用したレジリエンス強化事業 農業用水を利用した小水力発電施設を活用した地域の非常用電源の導入を支援	2,000
	■安全で環境にやさしい農業の推進 ・持続的生産強化GAP拡大事業(再掲) とやまGAPの普及拡大と、第三者認証GAPの取得や教育現場でのGAP推進を支援	3,900
	・環境にやさしい農業「みどり戦略」推進事業(再掲) とやま有機農業アカデミーの開設、有機農業転換、プラスチック被覆肥料低減対策支援など	62,000
	■推進体制の整備 ・中山間地域総合戦略推進事業 中山間地域を総合的に支援するための県計画策定等、県の推進体制を整備	2,700
	・集落支援推進事業 きめ細かな集落支援を推進するため、「地域コンシェルジュ」を配置	23,922
	■中山間地域を支える人材の育成、地域コミュニティの活性化の促進 ・【拡】中山間地域サポート人材育成事業 中山間地域における住民主体の地域社会形成を推進するため、地域活動をサポートする人材やコミュニティビジネスで地域に活気を創る人材を育成	2,500
・中山間地域「話し合い」促進事業 住民による話し合い(合意形成)の取組みを支援(専門家等の派遣)	8,000	
■中山間地域等直接支払制度などの活用 ・元気な中山間地域づくり支援事業 中山間地域等直接支払交付金を活用し、継続的な農業生産や棚田地域の保全活動を支援	751,000	
・中山間地園芸協働地域モデル創出事業 中山間地にて、機械・生産技術導入による生産条件の改良・ICT・DX技術等の活用を支援	24,000	
・中山間地農業支援事業 保管理農地の活用や高収益作物の導入、スマート農機等を活用した作業体系を 実証	6,600	
・農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業 農村型地域運営組織(農村RMO)の形成によるむらづくりの推進を目指す取組みを支援	81,000	
・【新】集落営農広域連携促進事業 集落営農組織の世代交代や若者の就業促進、少人数大規模経営などに取り組む 広域連携組織のモデルづくりを支援	4,600	
・中山間地域等条件不利農地集積支援事業 未整備農地の畦倒しなど、耕作効率向上を図る取組みを支援	1,800	

	<p>■地域と企業・団体が連携して行う地域活性化活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域チャレンジ支援事業 地域の活性化に向けて、集落と地域内外の企業や団体等が連携して取り組む試行的な活動に対して支援 14,250 ・【新】中山間地域買い物安心支援事業 4,500 中山間地域において買い物に不安を感じない環境を創るため、ネットスーパーの活用促進や、地域ぐるみの宅配ボックス導入を支援 ・中山間地域保全パートナーシップ推進事業 3,000 中山間地域の農地保全等のため、集落と企業・団体等の協働活動の推進及び農村ボランティア活動を支援 <p>■鳥獣被害防止対策や耕作放棄地の発生防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【拡】鳥獣被害防止総合対策事業 291,478 侵入防止柵の設置や捕獲などへの支援や、捕獲したイノシシ等のとやまジビエの活用への取組みを支援 ・美しい農村景観整備事業 1,000 農村景観等の保全のための荒廃農地の復元・保管理の活動を支援 ・最適土地利用総合対策事業 29,000 地域ぐるみの話し合いを通じ、重要な地域資源である農地の有効利用や粗放的な利用によるモデル的な取組みを支援し、土地利用の最適化を推進 ・簡易放牧支援事業 250 里山の景観保全や獣害対策を目的とした牛の簡易放牧を支援 <p>■農林漁業者による加工や流通・販売等の6次産業化の取組みを総合的に支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化推進事業(再掲) 4,500 －富山農山漁村発イノベーションサポートセンターの運営 －とやま6次産業化セミナーの開催 －6次産業化の戦略推進 ・6次産業化支援事業(再掲) 78,600 農林漁業者による商品・サービスの開発等を支援 －6次産業化チャレンジ支援事業 －6次産業化施設整備等事業 <p>■女性農業者への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんばる女性農業者支援事業 6,236 農村女性の起業活動から事業継承までの支援及び女性セミナーやPRイベントを開催 ・女性起業地産地消活動指導事業(再掲) 423 女性起業組織の地場産農産物の生産や、販売等の地産地消活動の総合的な支援 ・女性が変わる未来の農業推進事業(再掲) 6,100 女性が働きやすい環境整備と女性活躍の理解を促進させる取組みを支援 	
(3) 都市との交流拡大、移住促進	<p>■田舎暮らし体験を通じた定住・半定住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま帰農塾推進事業 5,301 田舎暮らし体験を通じた二地域居住、定住促進のための「とやま帰農塾」を開催 <p>■農林漁業体験等を通じた都市との交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま農泊ネットワーク推進事業 9,010 富山県農泊推進ネットワーク会議を運営し、農泊に取り組む地域等の育成や、誘客促進に係る取組みを実施 ・都市農山漁村地域共創事業 7,300 地域資源を活用した都市農村交流や担い手確保のための活動を支援 ・ふれあい創出地域間交流支援事業 600 「都市との交流による農山漁村地域の活性化に関する条例」に基づき指定する重点地域が行う県外との交流拡大を図る取組みを支援 ・中山間地域交流スタートアップ支援事業 6,000 都市農村交流推進のための地域運営体制づくりを支援 ・交流地域活性化重点支援事業 1,150 「都市との交流による農山漁村地域の活性化に関する条例」に基づき指定する重点地域に対して、広報や人材育成等を伴走支援 ・とやまノーム(農務)ステイ事業 4,000 中山間地域に外部人材が短期的に滞在し、地域と協働で農作業を行い、交流を通じて関係人口を創出する取組みを試行的に実施 ・【新】都市農村交流サクセッサ事業 1,000 県内の都市農村交流事業を実施する団体の後継者不足解消に向けた現状を調査 	

<ul style="list-style-type: none"> ・【新】都市農村交流アンバサダー事業 若者が普段使用する情報媒体での情報提供及び若者ニーズに合った都市農村交流を企画 	4,500
<ul style="list-style-type: none"> ・【新】都市農山漁村交流推進事業 県内で実施中の都市農山漁村交流事業について、各事業の情報を集約したポータルサイトを構築 	7,500
<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域フィールドスタディ政策協働推進事業 県と市町村が東京大学生を中山間地域に受け入れて、地域活性化策等を導き出すプログラムを実施 	1,200

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
地域と企業・団体等が連携する地域活性化活動数	87団体	116団体	地域と企業・団体が連携し、中山間地域活性化に資する活動団体数
農業・農村サポーター活動参加者数	223人	245人	ボランティア活動での連携・交流を通して交流人口を増加させ、中山間地域の活性化につなげていく「とやま農業・農村サポーター活動」への参加者数
都市との交流による農山漁村活性化重点地域の指定数	49地域	56地域	「都市との交流による農山漁村地域の活性化に関する条例に基づき指定された地域数

「元気とやま創造計画アクションプラン(R6年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	28 水と緑の森づくり・花と緑の地域づくり
政策目標	水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりとそれを支える人づくりの推進が図られているとともに、四季折々の花と緑が満ちあふれた快適な生活環境が形成されていること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R6予算額
(1)水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進	<p>■ 県民参加による「里山林」の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山再生整備事業(市町村交付金事業) 県民協働による、里山林の整備を実施 ・里山再生整備事業(里山活用推進事業) 里山林の継続的な管理・利用を推進するため、里山地区のリーダーを養成 ・里山再生整備事業(森林病虫害等枯損木除去事業) 松くい虫等の森林病虫害による枯損木を除去 <p>■ 奥山の過密人工林等の「混交林」への誘導整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどりの森再生事業(森林整備事業・推進事業) 混交林に誘導するため、奥山の過密人工林や竹林が侵入した人工林などの整備を実施 ・みどりの森再生事業(みどりの里親事業) 森づくり事業地で使用する県産広葉樹苗を県民協働で育成 <p>■ 優良無花粉スギの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及を図るため、苗木の育成やスギ人工林伐採跡地への植栽・初期保育の支援を実施 	<p>175,217</p> <p>1,150</p> <p>13,600</p> <p>50,708</p> <p>2,500</p> <p>100,000</p>
(2)とやまの森を支える人づくりの推進	<p>■ 森林ボランティアの活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業 森林ボランティア活動に対する専門的・総合的な支援 【新】森づくりボランティアCO2吸収量認証事業 森林整備によるCO2吸収量の認証制度を創設 <p>■ 県民全体で支えるとやまの森づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水と緑の森づくり推進事業 森づくりの評価・改善のため、水と緑の森づくり会議及び森林審議会森づくり部会を開催 ・とやまの森づくり総合情報システム事業 富山県森林クラウドにより森づくり事業の成果を県民に提供 ・とやまの森づくり普及啓発推進事業 森づくりへの理解を深めるため、「森の寺子屋」を開催 ・県民による森づくり提案事業 県民が自ら企画・実践する森づくり活動を支援 ・とやま森の祭典実施(一部) 豊かな森を守り育てる機運を未来につなげるため「とやま森の祭典」を開催 <p>■ 県産材利用の促進や木の良さの普及啓発の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産材利用促進事業 -県産材の活用を促進するため、公共施設及びPR効果の高い民間施設の木造化や木製品の導入等を支援 -木育を推進するため、県産材大型遊具の設置等の支援や木育イベントを実施 	<p>32,699</p> <p>1,880</p> <p>3,800</p> <p>6,000</p> <p>6,000</p> <p>5,000</p> <p>20,200</p>
(3)県民緑化運動の推進と花と緑のあふれる地域づくり	<p>■ 県民緑化運動の推進と花と緑のあふれる地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「富山のさくら」名所づくり事業 地域振興や観光資源として活用するため、さくらの名所70選のPRやとやまさくら守の育成を実施 ・花のまちづくり新拠点創出支援事業 緑化活動の低調な地域に対し、(公財)花と緑の銀行が行う重点的な取組みを支援 ・コンテナガーデンコンテスト開催事業 地域緑化の指導者の日頃の成果を発表する機会として、(公財)花と緑の銀行が開催するコンテナガーデンコンテストを支援 	<p>1,007</p> <p>784</p> <p>1,424</p>

<参考>

活動指標

指標名	現況 R4年度	目標 R8 (2026年度)	指標の説明
里山再生整備実施地区数(累計)	412地区	510地区	地域住民の自主的な活動により、里山の再生整備に取り組む地区数
優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の苗木生産本数(累計)	421千本	1,000千本	スギの伐採跡地に植栽する優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の苗木生産本数
とやまの森づくりサポートセンターの登録団体数	141団体	150団体	とやまの森づくりサポートセンターに登録し、森づくりボランティア活動に取り組む団体数(企業を除く)
県民が主体的に取り組む花と緑のまちづくりに対する支援実績(累計) ※新拠点創出支援事業	148回	190回	地域の公共空間において行われる新たな花と緑のまちづくりの取り組みに対して、花と緑の銀行が支援する件数(累計)